

「横浜国際港都建設事業 旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業」
の公共事業事前評価調書（案）に対する
市民からのご意見の内容とご意見に対する横浜市の見解

○横浜市公共事業評価事前評価における市民意見

募集期間 令和4年8月1日（月）～8月31日（水）

市民意見 68件（うち団体：1件）

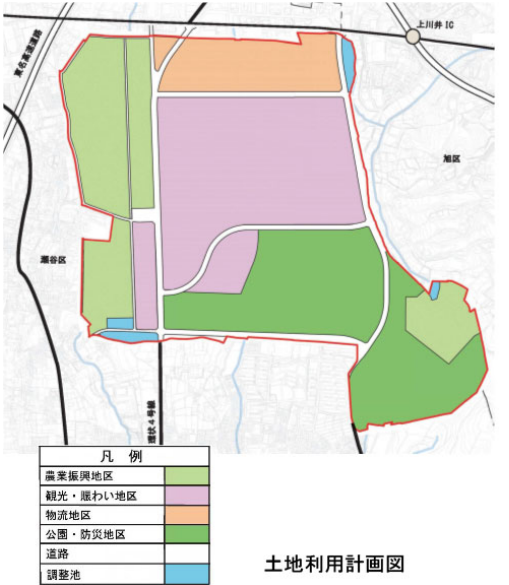
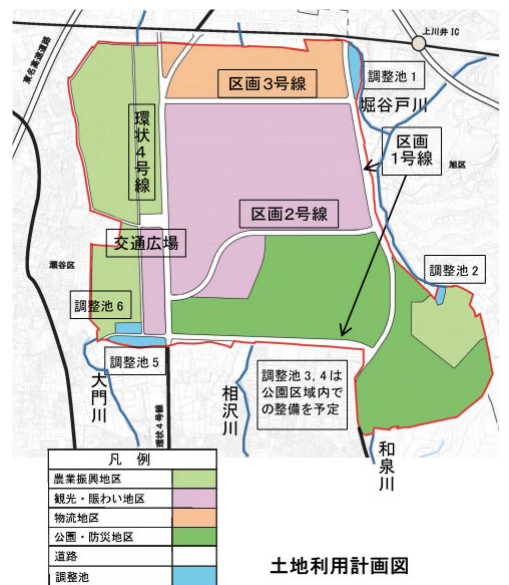
お寄せいただいたご意見と、ご意見に対する横浜市の見解を、次のとおりまとめました。

また、お寄せいただいたご意見と横浜市公共事業評価委員会の審議結果を踏まえ、公共事業事前評価調書（案）の一部を修正し、公共事業事前評価調書として確定しました。

○お寄せいただいたご意見と横浜市の見解（別紙のとおり）

お寄せいただいたご意見については、提出された順に、原則、全て原文のまま掲載しています。（個人名等、一部要約、削除しています。）

公共事業評価調書 新旧対照表

	修正前	修正後
<p>事業内容の 土地利用計画図</p>	 <p>土地利用計画図</p>	 <p>土地利用計画図</p>
<p>事業の必要性</p>	<p><必要性・優先度></p> <p>●地域の現状 本地区は、米軍施設の跡地であり約70年間にわたって土地利用が制限されてきました。民有地が約45%を占めておりほとんどが農業振興地域となっていますが、米軍施設用地として土地利用が抑制されてきたことから、農道や排水施設などの最低限の農業基盤も整備されていません。</p> <p>また、地権者は、米軍に長年土地を提供し自由な土地利用が制限されてきたことに加え、米軍の電波受信基地としての役割から、計画地周辺に電波障害防止地域を設けられるなど、建物の高さや構造物の建築、栽培する作物などにも厳しい制限がかけられてきたことから、地権者の早期の生活再建が求められています。</p> <p>●事業の必要性 本事業においては、国有地・民有地の混在を解消すること、周辺の緑豊かな自然環境と調和のとれた優良な都市農業の振興と、新たな都市的土地利用が共存可能なまちづくりの推進を図るために土地を集約すること、将来必要となる道路等都市基盤の一体的な整備による利便性の向上を図ることが必要です。</p> <p>●事業の優先度 米軍施設の跡地であり、約70年間にわたって土地利用が制限されてきたことから、地権者の早期の生活再建が求められています。そのため、令和2年3月に策定した「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画」に基づき、まちづくりを進めていく必要があります。</p> <p><上位計画における位置づけ等> 旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業は、「横浜市中期4か年計画2018～2021」に掲げられた6つの戦略の中で、戦略4の「人が、企業が</p>	<p><必要性・優先度></p> <p>●地域の現状 本地区は、米軍施設の跡地であり約70年間にわたって土地利用が制限されてきました。民有地が約45%を占めておりほとんどが農業振興地域となっていますが、米軍施設用地として土地利用が抑制されてきたことから、農道や排水施設などの最低限の農業基盤も整備されていません。</p> <p>地権者は、米軍に長年土地を提供し自由な土地利用が制限されてきたことに加え、米軍の電波受信基地としての役割から、計画地周辺に電波障害防止地域を設けられるなど、建物の高さや構造物の建築、栽培する作物などにも厳しい制限がかけられてきたことから、地権者の早期の生活再建が求められています。</p> <p>また、計画地内は、市内でも有数のまとまった農地が広がっており、計画地の南東側には、瀬谷市民の森、上川井市民の森、追分市民の森、矢指市民の森が連続しており、豊かな緑が広がっています。</p> <p>●事業の必要性 本事業においては、国有地・民有地の混在を解消すること、周辺の緑豊かな自然環境と調和のとれた優良な都市農業の振興と、新たな都市的土地利用が共存可能なまちづくりの推進を図るために土地を集約すること、将来必要となる道路等都市基盤の一体的な整備による利便性の向上を図ることが必要です。</p> <p>●事業の優先度 米軍施設の跡地であり、約70年間にわたって土地利用が制限されてきたことから、地権者の早期の生活再建が求められています。そのため、令和2年3月に策定した「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画」に基づき、まちづくりを進めていく必要があります。</p>

	<p>集い躍動するまちづくり』～誰もが『住みたい』『住み続けたい』と思える郊外部～」に位置付けられており、政策 21「コンパクトで活力のある郊外部のまちづくり」～米軍施設跡地等の都市的土地利用が見込まれる地域では、緑や農地の保全とのバランスや周辺環境との調和を図りながら、戦略的な土地利用を推進するものとしています。また、「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（平成 30 年 3 月）」にも位置づけられています。</p> <p><適地性> 本地区は、面積が約 250 ヘクタールに及ぶ首都圏でも大変貴重な大規模な空間であるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接する交通利便性に優れた地区です。こうした特徴を踏まえ、将来のまちづくりを推進する必要があります。</p> <p><公的関与の必要性> 基地として 70 年使用されてきた経緯も踏まえ、行政が主体となってまちづくりに取り組み、かつ、市として郊外部の活性化拠点形成を目指し、政策的に農業振興と土地活用を一体的に進めるまちづくりを行っていく必要があります。</p> <p>また、広大な区域を対象に、多くの地権者の合意形成を図りながら事業を進める必要があり、地権者の早期の生活再建や、博覧会開催を想定したインフラ整備を進めるため、速やかに事業を進める必要があります。</p>	<p><上位計画における位置づけ等> 旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業は、「横浜市中期 4 か年計画 2018～2021」に掲げられた 6 つの戦略の中で、戦略 4 の『人が、企業が集い躍動するまちづくり』～誰もが『住みたい』『住み続けたい』と思える郊外部～」に位置付けられており、政策 21「コンパクトで活力のある郊外部のまちづくり」～米軍施設跡地等の都市的土地利用が見込まれる地域では、緑や農地の保全とのバランスや周辺環境との調和を図りながら、戦略的な土地利用を推進するものとしています。また、「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（平成 30 年 3 月）」にも位置づけられています。</p> <p><適地性> 本地区は、面積が約 250 ヘクタールに及ぶ首都圏でも大変貴重な大規模な空間であるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接する交通利便性に優れた地区です。こうした特徴を踏まえ、将来のまちづくりを推進する必要があります。</p> <p><公的関与の必要性> 基地として 70 年使用されてきた経緯も踏まえ、行政が主体となってまちづくりに取り組み、かつ、市として郊外部の活性化拠点形成を目指し、政策的に農業振興と土地活用を一体的に進めるまちづくりを行っていく必要があります。</p> <p>また、広大な区域を対象に、多くの地権者の合意形成を図りながら事業を進める必要があり、地権者の早期の生活再建や、博覧会開催を想定したインフラ整備を進めるため、速やかに事業を進める必要があります。</p>
<p>環境への配慮</p>	<p><u>豊かな自然環境をいかした土地利用の検討を進めるとともに、地区全体で多様な機能を持つグリーンインフラを活用することとしています。</u></p>	<p><u>環境への配慮については、透水性舗装の導入を含め、4 地区においてグリーンインフラの視点を取り入れるとともに、カーボンニュートラルの達成を目指した移手段の導入や、再生可能エネルギーの導入などの実現可能性について検討を進めていきます。</u></p> <p><u>また、公園区域を中心に相沢川の原風景を感じられる水辺空間となるよう再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを生かした計画とするなど自然と調和した土地利用を進めていきます。</u></p>

No.	ご意見の概要	ご意見に対する横浜市の見解
1	<p>この案は新型コロナウイルス感染症が広まる前に作成されています。</p> <p>世界で 600 万人以上、日本で 3 万人以上の死者を出したこの感染症を考慮し、全面的に計画を変更すべきです。</p> <p>感染症は今後も間違いなく発生し、人々の命を奪います。</p> <p>テーマパークではなく、感染症対応可能な大きな病院を建ててください。</p> <p>通信隊跡地は東京都から利便も良く、首都圏に必要な病院の建設地としてベストだと考えます。</p> <p>大病院のない地元瀬谷区の住民の多くもそれを望んでいます。</p> <p>ここまで計画を仕上げるのに費やした時間や労力、経費は大変なものだったと思います。</p> <p>しかし、100 年先を見通し、思い切って計画を変更する勇気と決断を期待しています。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約 70 年間米軍施設として接收されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた土地利用基本計画は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、テーマパークを核とした複合的な集客施設の導入を検討している観光・賑わいゾーン、物流ゾーン、農業振興ゾーン、公園・防災ゾーンを配置することとしてこれまで検討が進められてきているため、医療施設については現時点では難しいものと考えています。</p>
2	<p>道路の自転車走行部分の明確性</p> <p>高齢者が自動車運転免許を返還することが多くなる中、車のかわりに自転車にする人が多くなると思う。</p> <p>又幼児を育てているお母さん達は自転車に子供と山積の買い物の品を乗せて、かなりのスピードで走っている。</p> <p>上記どちらも車道は車が怖いから走らず歩道を使っている。</p> <p>交通法規など考えず歩行者にベルも鳴らさず走行して来るから、危く接触しそうなことも数多くあった。</p> <p>まるで歩行者側がよける義務があるかのように「危いでしょう」とどなる。</p> <p>事故になればケガだけではすまない。</p> <p>これから花博・テーマパーク他 人や車の往来が多くなる地域です。</p> <p>自転車事故も交通事故です。</p> <p>防ぐ手段を考えて計画して下さい。</p>	<p>将来の交通需要に対応するため、環状 4 号線の拡幅整備や環状 4 号線を補完する地区内幹線街路として、幅員 26m の道路（区画 1 号線～ 3 号線）を整備します。</p> <p>その際、歩行者の安全対策も大切と考えており、拡幅した環状 4 号線や地区内幹線街路の車道部に自転車専用通行帯を確保し、歩行者と自転車の分離により安全確保を図っていきます。</p>

<p>3</p>	<p>海軍道路沿い住民の走行車両による振動からの解放を</p> <p>海軍道路は以前は10t車両の規制があったが今は一日中大型車両が走る。</p> <p>最近では超大型工作車両がかなり通る。地震と間違える（TVで地震速報が流れて地震と判断）位のレベルで絶えず震動の中で生活している。</p> <p>振動測定はx・y軸のみ測定判断としているが振動はz軸も伝わることは物理学的に当たり前。</p> <p>判断の対象とすべき。壁の亀裂、器具の短命、精神的不快感、我慢の限界にきている人は私だけではない。</p> <p>先月6月5日のアジサイプラザで花博協会の説明会で多勢の人がこの問題を尋ねたら道路整備事業や、他部所のことと回答。</p> <p>花博だけでなくテーマパークや物流センターその他の開発の工事中からずっと続くこの地域の交通量を考えて、住民の苦痛を取り除く計画を作ってください。是非に。</p>	<p>将来の交通需要に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。</p> <p>また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線の拡幅整備を進めるとともに新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めていくこととしています。</p> <p>これらの整備により、交通混雑の分散・緩和を図り、周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>また、工事期間中については、工事用車両運行ルート分散と運行時間帯の管理により、周辺地域への影響を低減させていきます。</p>
<p>4</p>	<p>計画地内は横浜市内でも有数のまとまった農地であること、また計画地の南東側にも豊かな森が広がっていることは、他の地域から差別化できる極めて貴重な特徴です。</p> <p>横浜市として地球温暖化対策を積極的に推進していく観点から考えると、この地域の自然を破壊し大規模開発を行うことは適切ではないと考えます。</p> <p>大勢の人を呼び込むことを期待して花博やテーマパークを作るのは、かえって当該地域の貴重な特性を潰してしまうことになりかねません。</p> <p>開発は必要最低限のインフラ整備に留め、現在ある自然を最大限活かし、人が来ない事を逆手に取った、上瀬谷でしかできない土地活用の方法を再考すべきです。</p> <p>花博やテーマパークは上瀬谷以外でもできることであり、（寧ろ、他地域で開催の方が容易）自然破壊してまで行う意味は無いと考えます。</p>	<p>国際園芸博覧会については、上瀬谷地区が、緑と融合した都市のモデルを国内外に発信するのにふさわしいエリアであるとともに、この地で開催することで、基地跡地の平和的利用の象徴となり、世界へ友好平和の力強いメッセージを発信できるという理由から、開催する意義があると考えています。</p> <p>土地区画整理事業については、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた土地利用基本計画は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わいゾーン、物流ゾーン、農業振興ゾーン、公園・防災ゾーンを配置することとして検討が進められています。</p> <p>土地利用に当たっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p>

<p>5</p>	<p>・跡地には、通信隊施設だけでなく日本海軍の遺構もあるようで、「埋蔵文化財」として、ぜひ、残してほしい。</p> <p>いったん、処分してしまうと二度と戻すことはできません。処分は未来の人たちの判断に任せるべきで、そのためにも遺構は残してください。</p> <p>跡地が整備されたときに、そこにぽつぽつと遺構が残る風景もよいと思います。</p> <p>・「瀬谷区には大きな病院がないので転居はやめた」という知人がいます。2017年度の住民アンケートでは、1位・公園（23%）、2位・防災拠点（14%）、3位・病院（11%）、4位・スポーツ施設（8%）・・・最下位の15位・物流拠点（0, 8%）となっています。</p> <p>これは新型コロナ流行以前の調査です。現在はさらに病院建設を求める声が大きくなっているはずです。瀬谷区の発展のために、ぜひ、大きな病院を建ててください。</p> <p>・米軍の残した汚染物質は必ず除去してください。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設地区には埋蔵文化財包蔵地が分布していますので、土地区画整理事業による公共施設や宅地等の整備にあたっては、文化財保護法に基づく文化財の保存や活用を目的として、埋蔵文化財調査を行います。</p> <p>遺構等が確認された場合には、国等の関係機関とも協議しながら対応を検討していきます。</p> <p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接收されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた土地利用基本計画は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、テーマパークを核とした複合的な集客施設の導入を検討している観光・賑わいゾーン、物流ゾーン、農業振興ゾーン、公園・防災ゾーンを配置することとしてこれまで検討が進められてきているため、医療施設については現時点では難しいものと考えています。</p> <p>土壌汚染調査については、当地区の全域を対象に土壌汚染対策法ガイドラインに基づき、調査を実施しています。旧日本海軍施設及び米軍上瀬谷通信施設等の土地利用の地歴を踏まえて、土壌汚染のおそれの区分と区画を選定し、詳細調査を実施しました。その結果、国有地66区画、民有地22区画の基準値超過を確認しています（民有地の2区画は除去済み）。</p> <p>深い位置で土壌汚染が確認された1か所については、今後、具体的な造成計画を進める中で、適切に対応していきますが、それ以外で土壌汚染が確認された箇所については、すべて掘削除去を行っていく予定です。</p>
----------	---	---

<p>6</p>	<p>街路樹にはやはり「シドモア桜」が良いのではないのでしょうか？</p> <p>日米の親睦に一役買ったワシントンの桜の着想の元は横浜におられ日本を愛したシドモアさんの功績によるものです。</p> <p>また公園内の桜の植樹に当たってシドモアさんとワシントンの桜に関わった方々の功績を顕彰する区画を整備しワシントンへ贈った 12 種類の桜を植えるというのでしょうか？</p> <p>シドモアさんの発想と尽力から起こった一連の事柄の連鎖は多くの日本人に示されて記憶されるべきものと思います。</p> <p>企画時の参考になればと思います。また植樹に当たっては一定数の苗は生育不良を起こしたり枯死する事がありえると思いますが維持管理について品種情報、植樹情報など含めて継続的に管理を進めていただく様をお願いします。</p>	<p>海軍道路（環状4号線）の桜並木については、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で毎年約20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。</p> <p>そのため、国際園芸博覧会や新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代につなげていくという考え方から、この機会に桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和4年10月には、これまで検討を進めてきた、「海軍道路の桜並木に関する懇談会」の検討結果や「(仮称)旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)」、「市民意見募集の結果」等も踏まえて、「新たな桜の名所づくりに向けた基本計画(以下、「基本計画」という。)」をお示しました。</p> <p>新たな桜の名所となるよう、引き続き、基本計画に基づいて着実に事業を進めていきます。</p> <p>いただいたご意見は、新たな桜の名所づくりを行う中で、参考とさせていただきます。</p>
<p>7</p>	<p>2027年には花博も開かれます。横浜ゆかりの歴史的人物エリザ・シドモア女史(ワシントンへの桜贈呈の発案者で横浜外人墓地に眠る)にちなんだ桜(シドモア桜の会が維持管理中)、あるいは、ワシントンへの桜贈呈の返礼として日本に贈られたハナミズキを植樹し、日米友好に横浜が果たした役割を「見える形で」再評価できるようにしましょう。</p>	<p>海軍道路（環状4号線）の桜並木については、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で毎年約20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。</p> <p>そのため、国際園芸博覧会や新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代につなげていくという考え方から、この機会に桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和4年10月には、これまで検討を進めてきた、「海軍道路の桜並木に関する懇談会」の検討結果や「(仮称)旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)」、「市民意見募集の結果」等も踏まえて、「新たな桜の名所づくりに向けた基本計画(以下、「基本計画」という。)」をお示しました。</p> <p>新たな桜の名所となるよう、引き続き、基本計画に基づいて着実に事業を進めていきます。</p> <p>いただいたご意見は、新たな桜の名所づくりを行う中で、参考とさせていただきます。</p>

8	<p>観光賑わい地区に日本の文化であるアニメ・マンガ・紙芝居などを発信する基地としてテーマパークを建設して欲しい。</p> <p>(ご意見をお寄せいただいたご本人の了解のうえ要約させていただきました。)</p>	<p>テーマパークについては、本年5月には、地元協議会からテーマパークの実現可能性があるとの報告があったことを踏まえ、市施行の区画整理を進めていくことを決定し、さらに、本市においてもサウンディング調査を行い、テーマパークの実現性が高まったことを確認するなど、継続的に検討してきました。</p> <p>今後、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>いただいたご意見の趣旨を踏まえて、今後もしっかりと検討してまいります。</p>
9	<p>公開された公共事業事前評価調書ですが、土地区画整理事業には土地の造成や河川の切り回しなどが含まれるにもかかわらず、その記載がなく不完全なものと認識しました。</p> <p>また、道路計画の道路や交通広場がどこに位置するのか、排水施設計画の1号から6号の調整池はどこに設置するのか分かりませんし、堀谷戸川に至っては既存の川にもかかわらず資料に記載がありません。</p> <p>以前の計画では、敷地内で280万㎡の切土、210万㎡の盛土をして、70万㎡の残土が発生する見込みでしたがこの記載もありません。</p> <p>添付の2020年3月の古い資料に、テーマパークや新交通システムといった事業の記載がありますが、実現の可能性が極めて低いこれらの事業を前提に土地区画整理事業を進めるべきではありません。</p> <p>敷地内には多くの樹木が存在しますが、どの程度伐採するかの記載も全くありません。</p> <p>横浜市はみどり税を徴収しており、上瀬谷の樹木や現在の自然環境は保全されるべきです。</p> <p>以上の観点から、このような杜撰な計画に税金を投入する当事業には強く反対します。</p>	<p>公共施設（道路計画及び排水施設（調整池））、現況の河川の位置については、公共事業事前評価調書に記載しました。</p> <p>相沢川は、現状、コンクリート3面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。また、大門川についても、現状、コンクリート3面張りの水路で、農業振興ゾーンを分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p> <p>土地利用に当たっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めており、今後、土地の造成においても、こうした考え方をもとに、切土盛土を少なくしていくことを考えています。</p> <p>また、国際園芸博覧会の会場予定地は、その後、新たな土地利用の中で公園として整備していく予定であり、その中で、既存樹木を生かしていくなど、緑の保全に努めていきます。</p> <p>テーマパークについては、地元協議会の皆様は、</p>

		<p>長年、民間企業の協力を得ながら、検討してきたものです。</p> <p>本市としても、市民意見募集等を経て、令和2年3月に「土地利用基本計画」を策定し、郊外部の活性化拠点を形成することとしました。</p> <p>本年5月には、地元協議会からテーマパークの実現可能性があるとの報告があったことを踏まえ、市施行の区画整理を進めていくことを決定し、さらに、本市においてもサウンディング調査を行い、テーマパークの実現性が高まったことを確認するなど、継続的に検討してきました。</p> <p>今後、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>新たな交通については、旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画に基づき、約250haの大規模な土地利用転換を目指すなか、必要な輸送力を有する、定時性、安定性が確保できる交通手段として、必要であると考えています。</p>
--	--	---

<p>10</p>	<p>公共事業評価制度の目的は「事業着手の妥当性の評価」で、①事業の必要性、②事業の効果、③環境への配慮等、が評価の視点であるとのことである。</p> <p>しかし、あれだけの大事業であるにも関わらず、事業評価調書がたった7ページで、数年前作成の添付資料だけである。</p> <p>また土地区画整理事業には公共施設の整備だけでなく、土地の造成が含まれるにも関わらず、調書には<道路計画>と<排水施設計画>の2つしか記載がない。</p> <p>しかも、その道路計画の区画1号線をはじめとする道路の位置や、排水施設計画の調整池の場所などが全く分からない。</p> <p>以前の資料では触れられていた、280万㎡の切土のうえ、敷地内に210万㎡の盛土をし、70万㎡の残土が発生する土地改良や川を暗渠にすることも触れられていない。不十分な調書と言わざるを得ない。</p> <p>公共事業評価制度の3要素に基づき先に纏めると、①必要性は「国際園芸博覧会（花博）」などをするためであるが、そもそも花博が不必要であるうえその他の区画整理の内容も必要性が認められない。</p> <p>②事業の効果は、絶滅危惧種を含む貴重な大自然を喪失すること。</p> <p>③環境への配慮等は、動植物の生息環境を破壊し、周囲の住民の住環境にも影響するため、配慮されていない。</p> <p><川の扱いについて></p> <p>相沢川について、花博・公園エリアでどれくらい地上部として残せるかははっきりと決まっておらず、観光・賑わいエリアでの暗渠化計画は残されたままである。</p> <p>来るかどうかも分からないテーマパークに備えて、取り敢えず水田と畑を埋めて川に蓋をして、全ての樹木を切り、平らにしておくことにしか見えない。</p> <p>また相沢川から引き込まれる農業用水路があり、西側の台地の至る所から湧き水が染み出し、淡水シジミやカワリヌマエビ、カワニナ、プラナリア、ミズムシ、サワガニなどの水生生物が生息している。</p> <p>暗渠化してしまうと、生物は住みかを失い、治水も難しく、上に乗る土地も決して安全とはいえない。</p> <p>この湧き水の存在を無視した引き回しルートとなる可能性が高い。</p>	<p>公共施設（道路計画及び排水施設（調整池）、現況の河川の位置については、公共事業事前評価調書に記載しました。</p> <p>土地利用に当たっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めており、今後、土地の造成においても、こうした考え方をもとに、切土盛土を少なくしていくことを考えています。</p> <p>国際園芸博覧会については、上瀬谷地区が、緑と融合した都市のモデルを国内外に発信するのにふさわしいエリアであるとともに、この地で開催することで、基地跡地の平和的利用の象徴となり、世界へ友好平和の力強いメッセージを発信できるという理由から、開催する意義があると考えています。</p> <p>土地区画整理事業については、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。</p> <p>生態系を保全するため、現状の地形等を生かした形で、保全対象種の生息環境を創出するとともに、個体の移動や、周辺の緑との連続性に配慮した緑地を創出することにより、動物、植物、生態系への影響を可能な限り低減することとしています。また、工事中及び工事完了後に事後調査を行い、保全対象種の生息状況を確認します。調査の結果、必要な場合には追加の環境保全措置も検討していきます。</p> <p>相沢川は、現状、コンクリート3面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。また、大門川についても、現状、コンクリート3面張りの水路で、農業振興ゾーンを分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p>
-----------	---	---

<p>用水路は相沢川流域の大谷戸にあり、この大谷戸は大雨を吸収し、下流域の洪水を防ぐ役割を担っているため、無くなると、下流域である南瀬谷や、境川へ大きな影響が出ることが想定される。</p> <p>加えて、大門川についても、こちらは農業用水にも利用されていないため、地権者の平安な農地が欲しいという要望を叶えるために暗渠化される予定である。</p> <p>区画整理事業では調整池がいくつか作られる予定であるが、これらの湧き水は引き込まれないとのこと。</p> <p>また、市は、吸水性の高い舗装や造成をしているが、当然壊す前の大自然の吸水力に比べると大きく劣り、下流域どころか造成後の上瀬谷通信施設跡が水害に見舞われはしないか。</p> <p>加えて、堀谷戸川、和泉川の源流も存在するため、これらの川も影響を受けるおそれがある。</p> <p><大門川流域の農地について></p> <p>花博にもテーマパークにも関係ないほぼ民有地のエリアで、そもそも土壤汚染の除去と水道敷設以外は市がわざわざ手を出す必要のない場所であるはずだが、なぜか、今まで農地をやってきて肥えた土地を入れ替え、農地・農道も全て一度潰し、平坦に大造成することから、見るからに宅地造成をしているようである。</p> <p>民有地の開発を市が税金を投入して行っているのはおかしいことである（地権者も保留地減歩という形で負担はするが、微々たるもの）。</p> <p><樹木伐採について></p> <p>市は「博覧会整備に当たっては既存樹木を生かして」としているが、実際のところ、瀬谷市民の森から区域内にはみ出す森林部の「既存樹木地の保全エリア」だけであり、上瀬谷通信施設跡のほとんどの樹木は据えて伐採されてしまう。</p> <p>テーマソングである May. J さんの Flowers の PV の風景が全て無くなってしまおうとはなんという皮肉だろうか。</p> <p>東京ドーム約 3.8 個分の神宮外苑地区で約 1000 本であるから、同約 52 個分の上瀬谷ではいったい何本の木が切られてしまうのだろうか。</p> <p>その分若木を植えれば良い、植え込みや芝生にすれば良い、それを「緑化」だと市は言うが、表面的な</p>	<p>区画整理事業施行地区内には、大門川流域、相沢川流域、和泉川流域、堀谷戸川流域の 4 つの流域が主な流域であり、流域の浸水防止のために必要となる調整池を各流域に 1 箇所以上配置する計画です。</p> <p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、約 70 年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものですが、郊外部の活性化拠点形成を目指し、政策的に農業振興と土地活用を一体的に進めるまちづくりを行っていく必要があるため、市施行による土地区画整理事業を実施することとしたものです。</p> <p>農業振興地区につきましては、営農を希望する地権者を中心に新たな都市農業を行うために質の高い農業基盤を整備していきます。</p> <p>観光・賑わい地区につきましては、事業者公募を行う中で、多くの人や企業を呼び込み、将来にわたって賑わいを形成するとともに、安定的な経営や、地球環境への配慮、グリーンインフラの視点なども取り入れ、本市の新たな活性化拠点として、相応しい提案をいただけるよう検討を進めていきます。</p> <p>国際園芸博覧会の会場予定地は、その後、新たな土地利用の中で公園として整備していく予定であり、その中で、既存樹木を生かしていくなど、緑の保全に努めていきます。</p> <p>なお、広く周辺の市民の皆様も利用できる道路の整備などの公共的な利用に資するもののみ、公費を充てていく予定です。</p> <p>土壤汚染調査については、当地区の全域を対象に土壤汚染対策法ガイドラインに基づき、調査を実施しています。旧日本海軍施設及び米軍上瀬谷通信施設等の土地利用の地歴を踏まえて、土壤汚染のおそれの区分と区画を選定し、詳細調査を実施しました。その結果、国有地 66 区画、民有地 22 区画の基準値超過を確認しています（民有地の 2 区画は除去済み）。また、調査の深度については、先ず状況調査で表層の試料を採取することになっており、表層の汚染が認められた際に、改めて詳細調査として同じ調査区画の深い位置の試料を採取することになっています。以上のことから、調査範囲及び調査深度については、適切と判断しています。</p> <p>深い位置で土壤汚染が確認された 1 か所について</p>
--	--

<p>緑の量を確保しても、大木が小木や草になれば緑の質が低下する。</p> <p>また移植についても、表層的な土壌（覆土）では枯れるだけである。</p> <p>それは国立競技場や横浜市民病院のまわりの植え込みを見れば明らかである。</p> <p><土壌汚染について></p> <p>2021年10月から2022年3月にかけて行われた防衛省によるボーリング調査では、一応土壌汚染対策法ガイドラインの枠を超えた深度1m以上の部分の調査が行われているが、調査区画は地歴から決めており、恣意性がある。防衛省の土壌調査では国有地66箇所、民有地20箇所です鉛、ヒ素、フッ素が検出されている。ただしもっと深く掘ると汚染箇所が増えることから、場所も深さも調査が足りないと見るべきである。2002年、神奈川県寒川町で旧日本軍の毒ガス工場跡だと知らずに道路工事をしていた作業員11名が毒ガスに被災した事故があった。同年成立した土壌汚染対策法は、このような汚染物が地下深くに隠し埋められていたり、その埋没物が高い殺傷能力を持つものであることを前提としていない（工場操業などによる悪意無き副生産物等の漏洩・汚染が前提で、この場合、調査箇所が絞り込みやすい）。従って、調査が同法ガイドラインに沿って行われていると言われても不安が拭いきれない。</p> <p>また、2005年、環境省の検討会では「現時点では対応を行う必要性は認められない」とし、2015年に上瀬谷が返還されたあとも「何等かの新たな情報が判明しない限りは特段の対応は不要」と対応を変えていないが、戦後すぐ接収された土地であり、座して待っていても新たな情報が入るわけがない。</p> <p>このままでは土地区画整理事業が本格始動した後の事故や健康被害が出かねない。加えて、「旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業環境影響評価書」の中で、防衛省の調査結果は平成29年（2017年）であることが示されている。</p> <p>しかし、市から「上瀬谷の未来を考えよう会」への回答では、その調査結果を2020年に受領したとしている。</p> <p>本当に3年間も報告が無かったのであれば防衛省も防衛省であるが、一方で市は、報告を受けない間も、跡地関連の事業計画や環境アセスを進めていた。</p>	<p>は、今後、具体的な造成計画を進める中で、適切に対応していきますが、それ以外で土壌汚染が確認された箇所については、すべて掘削除去を行っていく予定です。</p> <p>なお、毒ガス弾等については、所管する環境省が全国調査を行い、収集した情報をもとに、保有または発見の可能性が示唆される場所として、全国138か所が特定されました。</p> <p>情報の確実性と地域の特定性などを勘案して分析された結果、上瀬谷については、平成17年に開催した「国内における毒ガス弾等に関する総合調査検討会」において、「現時点では対応を行うべき必要性は認められない」とされています。</p> <p>そのため、何らかの新たな情報が判明しない限りは、特段の対応は不要と言われていています。その後も、環境省に対して、定期的に新たな情報を確認していますが、特に変更はないとの回答をいただいています。</p>
--	---

<p>つまり実態に合わない計画を立てているおそれがある。</p> <p>上瀬谷からの汚染土の搬出量は今分かっているだけで1.6万㎡（運搬車約2700台分）ある。</p> <p>また汚染されていないとする残土は約71万㎡（同約12万台分）出る計画である。安全を完全に確認していない残土が全国に運び出されるのは何とも心苦しく、また汚染土も安全に処理されるのか心配になる。</p> <p>その汚染土壌の除去方法も、ほとんどが掘削除去だが、深い場所については現在位置で保存し、コンクリートなどで蓋をするだけのようだが、将来への問題の先送りではないか。</p> <p>建物の地下や基礎工事で問題にならないだろうか。</p> <p>そして土壌汚染そのものは国が起因なのにも関わらず、事業者である市が対策をし、国の費用負担は国有地を保留地として市に引き渡す形となっている。</p> <p>国有地の売却において、果たしてもくろみ通りの費用を賄えるのだろうか。また、前述の健康被害が出た際の責任も、誰が背負うのだろうか。</p>	
---	--

<p>11</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・花博はじめその後のテーマパークにしても軌道系交通機関なしで対応できるのか？(バスの運転手不足・大渋滞) ・「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画」P1 他のイラストには LRT らしきものが想定されているが、なぜ新交通に化けたのか？ ・新交通では工事期間・費用等が折り合わず見込みが立たなくなったが、LRT ならまだぎりぎり間に合うのではないかな？ ・LRT なら今後の輸送量増や延伸などにも容易に対応でき、若葉台等軌道系交通空白地帯を埋められるのでは？ ・工事が間に合わないからと言って SDGs の時代に「花」博を自動車交通中心で検討するのは愚の骨頂。世界の笑い者になる。ついでに言えば国民の多くがテーマパークに今更感を感じている。いつまで 80 年代を引きずるのか？ 	<p>新たな交通については、旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画に基づき、約 250ha の大規模な土地利用転換を目指すなか、必要な輸送力を有する、定時性、安定性が確保できる交通手段として、必要であると考えています。</p> <p>「上瀬谷ライン」として、当初、新交通システムの導入を検討し、株式会社横浜シーサイドラインに検討依頼をしてきましたが、令和 3 年 11 月に「現時点で参画はしない」との回答がありました。現在は、新たな交通の導入に向けて、将来の土地利用に見合う十分な輸送力を確保できる輸送システムについて、整備コストの抑制や、新たな技術の活用などの幅広い検討を進めています。</p> <p>国際園芸博覧会における来場者輸送の検討状況ですが、主な輸送手段として、周辺の複数の駅からシャトルバスを運行する予定としており、また、首都圏のターミナル駅からの直行バスなども検討しています。</p> <p>車利用者向けには、会場周辺での新たな道路整備や既存道路の拡幅を行うとともに、会場近くにてできるだけ多くの駐車場を確保します。更には、パーク&ライドについても検討していきます。</p> <p>これらの輸送の計画策定に向け、協会や本市をはじめ、国、県、交通事業者等で構成する「輸送対策協議会」を設置し、協議が開始されています。</p> <p>テーマパークについては、地元協議会の皆様、長年、民間企業の協力を得ながら、検討してきたものです。</p> <p>本市としても、市民意見募集等を経て、令和 2 年 3 月に「土地利用基本計画」を策定し、郊外部の活性化拠点を形成することとしました。</p> <p>本年 5 月には、地元協議会からテーマパークの実現可能性があるとの報告があったことを踏まえ、市施行の区画整理を進めていくことを決定し、さらに、本市においてもサウンディング調査を行い、テーマパークの実現性が高まったことを確認するなど、継続的に検討してきました。</p> <p>今後、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p>
-----------	---	---

<p>12</p>	<p>「H29年にまちづくり協議会が設立され、土地利用計画がまとめられた」について、</p> <p>(1) H18年に跡地利用計画が作られています。今回の計画は指針とかけはなれた内容です。</p> <p>すでに横浜市民全体の財産ともいえる米軍跡地の利用計画に市民が入っていないのはおかしいと思います。</p> <p>H27年に瀬谷区で行われたアンケートがあります。自然レクリエーション空間を希望する人が68%もいました。</p> <p>「誰もが住み続けたいと思えるまちづくり」についてそれはテーマパークではありません。</p> <p>自由に使える広場、レクリエーション施設、森や里山の散策、図書館、薪能のような文化施設など希望します。</p>	<p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた土地利用基本計画は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わいゾーン、物流ゾーン、農業振興ゾーン、公園・防災ゾーンを配置することとして検討が進められてきています。</p> <p>テーマパークについては、地元協議会の皆様が、長年、民間企業の協力を得ながら、検討してきたものです。</p> <p>本市としても、市民意見募集等を経て、令和2年3月に「土地利用基本計画」を策定し、郊外部の活性化拠点を形成することとしました。</p> <p>本年5月には、地元協議会からテーマパークの実現可能性があるとの報告があったことを踏まえ、市施行の区画整理を進めていくことを決定し、さらに、本市においてもサウンディング調査を行い、テーマパークの実現性が高まったことを確認するなど、継続的に検討してきました。</p> <p>今後、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>公園・防災ゾーンには、豊かな自然をいかしたレクリエーション空間やスポーツ施設などを整備し、人が集い、交流する広域公園を整備する計画です。具体的な施設に関するご意見については、関係部署にも情報提供します。</p>
<p>13</p>	<p>BS-TBS 噂の東京マガジンを見ました。花博のために海軍道路の桜並木をぜんぶ切るというのではないですか。</p> <p>今回の市の資料では、その点が書かれていないのでは。書かれていない（環状四号線の一部拡幅）からにはやらないということでしょうか（資料を読んでも見つけられません）全ぶ切ることはしないでいただきたい（税金のムダ）。</p> <p>資料19頁医療・福祉の具体案がなく、テーマパークが打ち出されていることを危惧します。</p> <p>テーマパークより病院をつくって下さい。地権者のみなさまはお気の毒と思いますが、このまま花博テーマパークのために広大な土地をならしてしまうことには反対いたします。</p>	<p>海軍道路（環状4号線）の桜並木については、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で毎年約20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。そのため、国際園芸博覧会や新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代につなげていくという考え方から、この機会に桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和4年10月には、これまで検討を進めてきた、「海軍道路の桜並木に関する懇談会」の検討結果や「(仮称)旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)」、「市民意見募集の結果」等も踏まえて、「新たな桜の名所づくりに向けた基本計画(以下、「基本計画」という。)」をお示しました。</p>

		<p>新たな桜の名所となるよう、引き続き、基本計画に基づいて着実に事業を進めていきます。</p> <p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接收されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた土地利用基本計画は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、テーマパークを核とした複合的な集客施設の導入を検討している観光・賑わいゾーン、物流ゾーン、農業振興ゾーン、公園・防災ゾーンを配置することとしてこれまで検討が進められてきているため、医療施設については現時点では難しいものと考えています。</p>
14	<p>家族と噂の東京マガジンを見ました。 桜並木、切ったらもったいないです。 残すやり方は出来ませんか？山中市長、どうか残すように、指示を出して下さい。 それから、グリーンインフラとありますが、ぜんぜんグリーンを残すようには、計画には見えません。 テーマパーク作るより、広ーい原っぱを残して下さい。たこあげしたいです。</p>	<p>海軍道路（環状4号線）の桜並木については、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で毎年約20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。そのため、国際園芸博覧会や新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代につなげていくという考え方から、この機会に桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和4年10月には、これまで検討を進めてきた、「海軍道路の桜並木に関する懇談会」の検討結果や「(仮称)旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)」、「市民意見募集の結果」等も踏まえて、「新たな桜の名所づくりに向けた基本計画(以下、「基本計画」という。)」をお示しました。</p> <p>新たな桜の名所となるよう、引き続き、基本計画に基づいて着実に事業を進めていきます。</p> <p>土地利用に当たっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。</p> <p>また、観光・賑わい地区では、今後行うテーマパ</p>

		<p>ークの公募にあたって、環境への配慮や、グリーンインフラの視点など、自然との調和を意識した提案をいただけるよう、進めていきます。</p>
15	<p>資料拝見。環境影響評価審査会審議の資料も見た。事業の必要性は感じるが、テーマパークが決まらないのに、全体の工事を進めることに反対する。</p> <p>日曜、BS-TBS で噂の東京マガジンという番組を見たが、市民が名付けた海軍道路の、平和の願いがこめられた桜並木を伐ることは横浜市の恥だと思った。</p> <p>審査会でも貴重な自然が残る地であることが、陳述人により明らかになったが、市には引き続き調査も望みたい。</p> <p>今のままの計画を推し進めていくことには反対と言わざるを得ない。</p> <p>SDGs をうたうのであれば、持続不可能なテーマパークより、自然を残す方向でお願いしたい。</p> <p>横浜で旭区で暮らすものとして計画の再考を強く訴えるものである。</p>	<p>テーマパークについては、地元協議会の皆様が、長年、民間企業の協力を得ながら、検討してきたものです。</p> <p>本市としても、市民意見募集等を経て、令和2年3月に「土地利用基本計画」を策定し、郊外部の活性化拠点を形成することとしました。</p> <p>本年5月には、地元協議会からテーマパークの実現可能性があるとの報告があったことを踏まえ、市施行の区画整理を進めていくことを決定し、さらに、本市においてもサウンディング調査を行い、テーマパークの実現性が高まったことを確認するなど、継続的に検討してきました。</p> <p>今後、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。また、公募にあたって、環境への配慮や、グリーンインフラの視点など、自然との調和を意識した提案をいただけるよう、進めていきます。</p> <p>海軍道路（環状4号線）の桜並木については、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で毎年約20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。そのため、国際園芸博覧会や新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代につなげていくという考え方から、この機会に桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和4年10月には、これまで検討を進めてきた、「海軍道路の桜並木に関する懇談会」の検討結果や「(仮称)旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)」、「市民意見募集の結果」等も踏まえて、「新たな桜の名所づくりに向けた基本計画(以下、「基本計画」という。)」をお示しました。</p> <p>新たな桜の名所となるよう、引き続き、基本計画に基づいて着実に事業を進めていきます。</p> <p>土地利用に当たっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p>

<p>16</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな里山の自然とそこに住む希少な動植物を守る計画にしてほしいです。 ・観光・賑わいゾーンが 248ha のうち 125ha は広すぎて自然破壊が酷くなると予想します。農業振興ゾーンと公園防災ゾーンをもっと広くしていただきたいです。 ・大門川、相沢川の暗渠化による水辺の生態系の破壊を危惧します。暗渠化を避け、自然と調和した形での計画となるようご再考をお願いします。 ・本事業によりヒバリやセッカなど草原性のいきものは全滅が懸念されます。草原性のいきものは栃木県の渡良瀬などにいけばたくさん居るでしょうけれど横浜市内でヒバリやセッカに会える環境を横浜の子供達に引き継ぐことは現在の大人達のつとめではないでしょうか。 ・上瀬谷は大都市横浜の豊かな自然という奇跡です。これからは人工的なテーマパークよりもこの奇跡こそが人を集める魅力になっていくと考えます。ご再考をお願いします。 	<p>生態系を保全するため、現状の地形等を生かした形で、保全対象種の生息環境を創出するとともに、個体の移動や、周辺の緑との連続性に配慮した緑地を創出することにより、動物、植物、生態系への影響を可能な限り低減することとしています。また、工事中及び工事完了後に事後調査を行い、保全対象種の生息状況を確認します。調査の結果、必要な場合には追加の環境保全措置も検討していきます。</p> <p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進め、土地利用基本計画としてまとめたものであり、その中では、観光・賑わい地区の面積は約 125ha、公園・防災地区は約 50ha、農業振興地区は約 50ha としました。その後、環境影響評価などを経て、観光・賑わい地区の面積は約 70ha、公園は約 65ha へと変更しました。</p> <p>相沢川は、現状、コンクリート 3 面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。また、大門川についても、現状、コンクリート 3 面張りの水路で、農業振興ゾーンを分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p> <p>土地利用に当たっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p>
-----------	--	---

17	<p>土地区画整理事業にあたって、主にヨーロッパで見られるような広い歩行者広場や歩行者専用道路を、全国に先立って整備してはどうでしょうか。</p> <p>日本では公園文化は根付いていますが、広場文化はあまり見られません。</p> <p>車の往來を気にすることなく安心して歩くことができます。</p> <p>車いす利用者、視覚障害者、お年寄りや子供なども安心して移動することができると思います。</p> <p>「車優先から人優先のまちづくり」を横浜市から発信していったらよいと思います。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画において、地区内道路の整備にあたっては、土地利用・基盤整備の考え方の中で歩行者や自転車等の通行に配慮した優しい空間を形成することとしており、地区内の環状4号線や地区内幹線街路においては広幅員の歩道や自転車専用通行帯を確保し安全確保を図るとともに、快適性の視点も取り入れながら検討を進めていきます。</p>
18	<p>テーマパーク案が依然として検討されているようですが、交通渋滞や騒音など近隣住民にとっては不安を感じさせるものでしかありません。</p> <p>現在の計画は以前行われたアンケート等で出ている市民の意見からかけ離れています。</p> <p>莫大な市税を投入するので市市民の要望にも耳を傾けていただきたいです。</p> <p>具体的な案も無い状況で土地区画整理を進めないでください。</p> <p>盛り土・切り土を行い、川を暗渠にしまってからでは今現在ある豊かな自然環境を取り戻せません。</p> <p>気候変動が叫ばれる中、さらに豊かな森に戻すような努力が必要です。</p> <p>目先の利益優先で開発を急がないよう、どうぞ宜しくお願いいたします。</p>	<p>将来の交通需要に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路(区画1号線～3号線)、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線の拡幅整備を進めるとともに新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めていくこととしています。</p> <p>検討の具体化に当たっては、交通渋滞などにより、周辺地域へ影響が出ないように、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p> <p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。市民の皆様からも環境影響評価や都市計画等の説明会や手続きを通じて広くご意見を伺ってきておりますが、いただいたご意見を参考に事業を進めていきたいと考えております。</p> <p>相沢川は、現状、コンクリート3面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。また、大門川についても、現状、コンクリート3面張りの水路で、農業振興ゾーンを分断するように流れており、さらには</p>

		<p>農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p> <p>土地利用に当たっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めており、今後、土地の造成においても、こうした考え方をもとに、切土盛土を少なくしていくことを考えています。</p>
19	<p>事業概要の事業内容の【土地区画整理事業の概要】について</p> <p>土地区画整理事業地区の北側には八王子街道を挟んで横浜総合卸センターがあります。</p> <p>本区画整理事業では、物流地区の新設が計画されており、これにより八王子街道など周辺道路の渋滞が深刻化する恐れがあります。</p> <p>物流産業にとって交通渋滞は事業にとって最も大きな障害であり、死活問題とも言えます。</p> <p>土地区画整理事業地区には観光・賑わい地区があり、集客力のある施設を誘致し賑わいの創出を図っています。</p> <p>これは交通渋滞を更に悪化させる恐れがあり、物流産業にとって深刻な交通渋滞は死活問題となります。</p> <p>地区内に物流地区と観光・賑わい地区を作ることには無理があると思います。</p> <p>貴重な区画整理地区が交通渋滞により開発のメリットを発揮できない恐れがあるので、観光・賑わい地区は作るべきでないと考えます。</p> <p>事業概要の事業内容の【地区内人口】について</p> <p>旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業は、「横浜市中期4か年計画 2018～2021」に掲げられた6つの戦略の中で、戦略4の『人が、企業が集い躍動するまちづくり』～誰もが『住みたい』『住み続けたい』と思える郊外部～」に位置付けられています。</p> <p>【地区内人口】が「居住人口は計画しません。」となっているのは、「誰もが『住みたい』『住み続けた</p>	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた土地利用基本計画は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わいゾーン、物流ゾーン、農業振興ゾーン、公園・防災ゾーンを配置することとして検討が進められてきています。</p> <p>将来の交通需要に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路(区画1号線～3号線)、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線の拡幅整備を進めるとともに新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めていくこととしています。</p> <p>検討の具体化に当たっては、交通渋滞などにより、周辺地域へ影響が出ないように、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p> <p>本市では、郊外部の鉄道駅を中心にしたコンパクトなまちづくりを進めており、鉄道駅徒歩圏(おおむね1キロメートル圏)については、現状の土地利用を踏まえつつ、駅周辺(生活拠点)への利便性を生かした良好な住宅市街地を形成するなど、土地の有効活用を図ることとしており、1キロメートル以上離れている上瀬谷では住宅は想定しておらず現在に至っております。</p>

<p>い』と思える郊外部」の趣旨に沿わないものと言えます。</p> <p>街に住む人がいなければ、街を愛する人のいないゴーストタウンになります。</p> <p>政府は日本の未来社会として Society5.0 社会を提唱しているので、文明開化の発信地である横浜に相応しい Society5.0 の未来都市を作る必要があります。</p> <p>花博では、緑地と都市が融合するグリーンシティが提唱されています。</p> <p>人々が生活し働く場所、人々が笑顔で行きかう未来都市が花博のテーマであるグリーンシティです。</p> <p>世界に誇れる美しい未来都市を横浜に造ることが重要だと考えます。</p> <p>事業の効果のコスト削減の取り組みについて</p> <p>この土地区画整理事業は総事業費が約 766 億円という巨大事業ですが、更に花博の会場建設に 320 億円、公園整備事業の総事業費として約 555 億円の支出が予定されており、総合計で約 1,641 億円になります。</p> <p>このような巨額の支出は最終的に市民の負担となるので、市民の負担を軽減するために、コスト削減を真剣に行う必要があります。</p> <p>コスト削減の取り組みに記載されているのは発注方法や道路・構造物の改善など実務上の改善であり、大きなコスト削減は期待できません。</p> <p>一番コスト削減効果があるのは重複投資を止めることです。</p> <p>最善の方法は、物流地区に隣接して運動広場、野球場、遊具広場などを作り、公園としては花博のレガシーをそのまま使うことです。</p> <p>残りの土地には花博のグリーンシティをテーマに、Society5.0 時代の SDG s 研究学園都市を作ることが考えられます。</p> <p>事業概要の事業内容の【土地区画整理事業の概要】について</p> <p>地区内には物流地区が予定されていますが、この北側には横浜総合卸センターがあり、横浜市の物流機能を強化し、経済を活性化する点から高く評価できます。</p> <p>しかし、観光・賑わい地区には集客力のある施設を誘致し賑わいの創出を図るとなっており、現在の</p>	<p>土地区画整理事業では、宅地整備や道路、調整池、農業基盤等といった地区全体の基盤整備を行うものであり、他事業と重複することのないよう取り組みます。</p> <p>いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>
--	---

交通渋滞を更に悪化させる恐れがあります。

物流産業にとって交通渋滞は事業にとって最も大きな障害であり、死活問題とも言えます。

交通渋滞を悪化させないためには、区画整理地区の交通負荷を大きくしないことが重要です。

地区内の農業振興地区は交通負荷は小さいと考えられます。

公園・防災地区と観光・賑わい地区を合わせて一つの区画とし、花博のテーマであるグリーンシティの実現を目標に、研究学園都市のような交通負荷の小さいSDGs都市・Society5.0の街を作り上げていくことが最も適切だと考えます。

事業目的について

土地区画整理事業の目的として、周辺の緑豊かな自然環境と調和のとれた優良な都市農業の振興と、新たな都市的土地利用が共存可能なまちづくりが挙げられています。

政府は日本の未来社会として Society5.0 を提唱しているので、新たな都市的土地利用とは Society5.0 の都市づくりであるといえます。都市農業と共存する Society5.0 都市は花博のテーマでもあるグリーンシティです。

区画整理区域には物流地区が予定されていますが、Society5.0 社会では、トラックの自動運転やロボットを使った自動倉庫も普及します。

トラックの自動運転などのテストには特別な交通規制が必要であり、実験都市を造るために戦略特区とすることが望まれます。

約248.5ha の広大な土地に戦略特区として実験都市ができれば、横浜は Society5.0 時代の新しい文明開化の発祥地になることができます。

事業の効果について

事業の効果については、費用便益分析、定性的事項、コスト削減の取り組みが記述されていますが、一番重要な定量的な分析が欠如していると考えられます。

区画整理事業の地域内には物流地区が予定されていますが、八王子街道を挟んで北側には横浜総合卸センターがあり、交通渋滞の悪化が危惧されます。

さらに区画整理事業の地域内に観光・賑わい地区を作り、集客力のある施設を誘致し賑わいの創出を図るとなっています。

	<p>もし施設への来客が増加した場合、交通渋滞を更に悪化させる恐れがあります。</p> <p>物流事業にとって交通渋滞は機能停止を招く最も大きな障害であり、極端な場合には経営上の死活問題となります。</p> <p>事業の効果を正確に算定するためには、物流事業に対する交通渋滞の影響、経営上のマイナスを定量的に分析することが必要だと考えます。</p>	
20	<p>横浜市の食糧自給率の向上に少しでも寄与できるような農地としての役割を失わないようにして下さい。</p>	<p>農業振興ゾーンでは、令和2年3月に策定した土地利用基本計画の中で、賑わい施設などと連携した農産物の収穫体験や、滞在しながら農の魅力を楽しむ農体験、ICTなどを活用した質の高い農産物の安定生産と直売等による「収益性の高い農業」の展開、大学と連携した農業技術の研究など、他の地域へも波及する新たな都市農業モデルとなる拠点を形成することとしています。</p>
21	<p>上瀬谷には貴重な生物や自然が残されている一方で、土壤汚染が改善されないのが何よりも問題だと思います。</p> <p>土壤汚染を解決すること。</p> <p>桜並木や、自然の流れのままの小川を残すことが横浜市民の財産になると思います。</p> <p>交通拠点としての整備は必要だと思います。</p> <p>横浜を拠点に鎌倉や箱根等の県内への移動の中心とするのが望ましいと思います。</p> <p>自然を破壊することなく、交通拠点としての開発を望みます。</p> <p>期間限定の人工花壇の花博は不要です。</p> <p>横浜にあったドリームランドが今や、野球場と大学と墓地になっています。</p> <p>上瀬谷で花博やテーマパークを作っても、未来に残すことが出来るのでしょうか？過去に学んでいただきたいです。</p>	<p>土壤汚染調査については、当地区の全域を対象に土壤汚染対策法ガイドラインに基づき、調査を実施しています。旧日本海軍施設及び米軍上瀬谷通信施設等の土地利用の地歴を踏まえて、土壤汚染のおそれの区分と区画を選定し、詳細調査を実施しました。その結果、国有地66区画、民有地22区画の基準値超過を確認しています（民有地の2区画は除去済み）。</p> <p>深い位置で土壤汚染が確認された1か所については、今後、具体的な造成計画を進める中で、適切に対応していきませんが、それ以外で土壤汚染が確認された箇所については、すべて掘削除去を行っていく予定です。</p> <p>海軍道路（環状4号線）の桜並木については、毎年樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で毎年約20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。そのため、国際園芸博覧会や新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代につなげていくという考え方から、この機会に桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p>

		<p>令和4年10月には、これまで検討を進めてきた、「海軍道路の桜並木に関する懇談会」の検討結果や「(仮称)旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)」、「市民意見募集の結果」等も踏まえて、「新たな桜の名所づくりに向けた基本計画(以下、「基本計画」という。)」をお示しました。</p> <p>新たな桜の名所となるよう、引き続き、基本計画に基づいて着実に事業を進めていきます。</p> <p>相沢川は、現状、コンクリート3面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。また、大門川についても、現状、コンクリート3面張りの水路で、農業振興ゾーンを分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p> <p>土地利用に当たっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>新たな交通は、瀬谷駅を起点とした公共交通機関として、将来の上瀬谷の土地利用に対応した輸送力を確保していく必要があります、土地利用検討の深度化にあわせ、幅広い検討を行っています。</p> <p>国際園芸博覧会については、上瀬谷地区が、緑と融合した都市のモデルを国内外に発信するのにふさわしいエリアであるとともに、この地で開催することで、基地跡地の平和的利用の象徴となり、世界へ友好平和の力強いメッセージを発信できるという理由から、開催する意義があると考えています。</p> <p>テーマパークについては、地元協議会の皆様が、長年、民間企業の協力を得ながら、検討してきたものです。</p> <p>本市としても、市民意見募集等を経て、令和2年3月に「土地利用基本計画」を策定し、郊外部の活</p>
--	--	--

		<p>性化拠点を形成することとしました。</p> <p>本年5月には、地元協議会からテーマパークの実現可能性があるとの報告があったことを踏まえ、市施行の区画整理を進めていくことを決定し、さらに、本市においてもサウンディング調査を行い、テーマパークの実現性が高まったことを確認するなど、継続的に検討してきました。</p> <p>今後、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p>
22	<p>旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業、および公共事業事前評価調書(案)、旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画を拝見し、本事業は、以下の目的によるものと理解しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国有地・民有地の混在を解消 ・ 優良な都市農業の振興 ・ 都市的土地利用のための土地の集約 ・ 道路等都市基盤の一体的な整備 ・ 公共施設の整備改善及び宅地の利用増進 <p>しかしながら、日本経済の低迷やコロナ禍などで生活様式も大きく変わりました。</p> <p>市民の生活圏や行動範囲もこれまでのような移動型から、地域内へと変わりました。</p> <p>遠くへ行かなくても地元の良いところを見直し、市民生活を豊かにすること。</p> <p>市内の宅地の均一化ではなく、あえての差別化を望みます。</p> <p>今私が求めているのは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体験施設ではなく、プロの都市農業、農家の育成と農地の確保。 ・ テーマパークではなく、企業と組んだクオリティの高いキャンプフィールドの整備。災害時には避難所としても活用できる。 ・ 市民の森をさらに大きく増やし、川、調整池の整備を行う。 ・ 道路、上下水道、電気等インフラの整備 ・ どこにでもある商業施設ではなく、何もない場所(でもインフラは整備されている) ・ 芸術祭のようなアートイベントも行える自然の中の広い土地。 	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものであり、地元まちづくり協議会と本市で取りまとめた土地利用基本計画に基づいて事業を進めてきています。</p> <p>農業振興ゾーンでは、令和2年3月に策定した土地利用基本計画の中で、賑わい施設などと連携した農産物の収穫体験や、滞在しながら農の魅力を楽しむ農体験、ICTなどを活用した質の高い農産物の安定生産と直売等による「収益性の高い農業」の展開、大学と連携した農業技術の研究など、他の地域へも波及する新たな都市農業モデルとなる拠点を形成することとしています。</p> <p>テーマパークについては、地元協議会の皆様が、長年、民間企業の協力を得ながら、検討してきたものです。</p> <p>本市としても、市民意見募集等を経て、令和2年3月に「土地利用基本計画」を策定し、郊外部の活性化拠点を形成することとしました。</p> <p>本年5月には、地元協議会からテーマパークの実現可能性があるとの報告があったことを踏まえ、市施行の区画整理を進めていくことを決定し、さらに、本市においてもサウンディング調査を行い、テーマパークの実現性が高まったことを確認するなど、継続的に検討してきました。</p> <p>今後、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p>

	<p>これは計画の中の一部にすぎませんが、こういう場所があったらと思います。</p>	<p>公園・防災ゾーンには、豊かな自然をいかしたレクリエーション空間やスポーツ施設などを整備し、人が集い、交流する広域公園を整備する計画です。具体的な施設に関するご意見については、関係部署にも情報提供します。</p> <p>インフラにつきましては、将来の土地利用にあわせ、上下水道等を整備するとともに、電線類の地中化や広幅員の歩道を設けるなど、景観にも配慮しながら快適な歩行者空間を創出できるよう整備を進めていく予定です。</p>
23	<p>農業にチカラを入れてください。区画整理をしっかりと進めて下さい。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものですが、郊外部の活性化拠点形成を目指し、政策的に農業振興と土地活用を一体的に進めるまちづくりを行っていく必要があるため、市施行による土地区画整理事業を実施することとしたものです。</p> <p>農業振興ゾーンでは、令和2年3月に策定した土地利用基本計画の中で、賑わい施設などと連携した農産物の収穫体験や、滞在しながら農の魅力を楽しむ農体験、ICTなどを活用した質の高い農産物の安定生産と直売等による「収益性の高い農業」の展開、大学と連携した農業技術の研究など、他の地域へも波及する新たな都市農業モデルとなる拠点を形成することとしています。</p> <p>いただいたご意見の趣旨を踏まえて、今後もしっかりと検討してまいります。</p>
24	<p>農業を営んでいるので、早く事業をすすめて今後の農業をやりにやすくしてもらいたい。</p>	<p>農業振興地区につきましては、営農を希望する地権者を中心に新たな都市農業を行うために質の高い農業基盤を整備していきます。</p> <p>いただいたご意見の趣旨を踏まえて、今後もしっかりと検討してまいります。</p>
25	<p>農業振興を主に土地区画事業を進めてほしい。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものですが、郊外部の活性化拠点形成を目指し、政策的に農業振興と土地活用を一体的に進めるまちづくりを行っていく必要があるため、市施行による土地区画整理事業を実施することとしたものです。</p>

		<p>農業振興ゾーンでは、令和2年3月に策定した土地利用基本計画の中で、賑わい施設などと連携した農産物の収穫体験や、滞在しながら農の魅力を味わう農体験、ICTなどを活用した質の高い農産物の安定生産と直売等による「収益性の高い農業」の展開、大学と連携した農業技術の研究など、他の地域へも波及する新たな都市農業モデルとなる拠点を形成することとしています。</p> <p>いただいたご意見の趣旨を踏まえて、今後もしっかりと検討してまいります。</p>
26	<p>早期に農業振興地域の計画を進めてほしい。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものですが、郊外部の活性化拠点形成を目指し、政策的に農業振興と土地活用を一体的に進めるまちづくりを行っていく必要があるため、市施行による土地区画整理事業を実施することとしたものです。</p> <p>農業振興ゾーンでは、令和2年3月に策定した土地利用基本計画の中で、賑わい施設などと連携した農産物の収穫体験や、滞在しながら農の魅力を味わう農体験、ICTなどを活用した質の高い農産物の安定生産と直売等による「収益性の高い農業」の展開、大学と連携した農業技術の研究など、他の地域へも波及する新たな都市農業モデルとなる拠点を形成することとしています。</p> <p>いただいたご意見の趣旨を踏まえて、今後もしっかりと検討してまいります。</p>
27	<p>農地が減ってしまうのは残念です。 市民にたくさんの農産物が届くように、しっかりとした農業政策を立ててください。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものですが、郊外部の活性化拠点形成を目指し、政策的に農業振興と土地活用を一体的に進めるまちづくりを行っていく必要があるため、市施行による土地区画整理事業を実施することとしたものです。</p> <p>農業振興ゾーンでは、令和2年3月に策定した土地利用基本計画の中で、賑わい施設などと連携した農産物の収穫体験や、滞在しながら農の魅力を味わう農体験、ICTなどを活用した質の高い農産物の安定生産と直売等による「収益性の高い農業」の展開、大学と連携した農業技術の研究など、他の地域へも</p>

		<p>波及する新たな都市農業モデルとなる拠点を形成することとしています。</p> <p>いただいたご意見の趣旨を踏まえて、今後もしっかりと検討してまいります。</p>
28	<p>都市農業の発展の為、又横浜の農業が日本の都市農業の手本となるように、農業振興に力を入れていただき、区画整理事業を進めて頂きたいです。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものですが、郊外部の活性化拠点形成を目指し、政策的に農業振興と土地活用を一体的に進めるまちづくりを行っていく必要があるため、市施行による土地区画整理事業を実施することとしたものです。</p> <p>農業振興ゾーンでは、令和2年3月に策定した土地利用基本計画の中で、賑わい施設などと連携した農産物の収穫体験や、滞在しながら農の魅力を楽しむ農体験、ICTなどを活用した質の高い農産物の安定生産と直売等による「収益性の高い農業」の展開、大学と連携した農業技術の研究など、他の地域へも波及する新たな都市農業モデルとなる拠点を形成することとしています。</p> <p>いただいたご意見の趣旨を踏まえて、今後もしっかりと検討してまいります。</p>
29	<p>市内最大で最後の集団農地を新たに整備することは今後の市内の食料生産に大きく寄与します。</p> <p>素晴らしい農地になるようにしっかりと整備をして未来の市民に楽しく地産地消を体験できるようにして下さい。</p> <p>素敵な農地を整備するように！！</p>	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものですが、郊外部の活性化拠点形成を目指し、政策的に農業振興と土地活用を一体的に進めるまちづくりを行っていく必要があるため、市施行による土地区画整理事業を実施することとしたものです。</p> <p>農業振興ゾーンでは、令和2年3月に策定した土地利用基本計画の中で、賑わい施設などと連携した農産物の収穫体験や、滞在しながら農の魅力を楽しむ農体験、ICTなどを活用した質の高い農産物の安定生産と直売等による「収益性の高い農業」の展開、大学と連携した農業技術の研究など、他の地域へも波及する新たな都市農業モデルとなる拠点を形成することとしています。</p> <p>いただいたご意見の趣旨を踏まえて、今後もしっかりと検討してまいります。</p>

30	<p>まずは花博（園芸博覧会）の中止を求めます。開発を急ぐ必要はありません。</p> <p>長い間手付かずのままだった旧上瀬谷通信施設地区には手付かずだったからこそその貴重な自然環境が残されています。慎重に進めるべきです。</p> <p>また、横浜市はみどり税を徴収しているのでなおさら自然環境は残すべきです。</p> <p>そもそも、横浜市は中学校給食を自校式に切り替えることが困難なほど長年財政難のはず。その中で多額の開発費用を注ぐことは得策とは思えません。</p> <p>安易なイベント開催およびテーマパーク開設はさらなる赤字を呼び込みます。</p> <p>なぜ財政難の中、開発だけに巨額を投資しようとするのでしょうか。</p> <p>上瀬谷の土地について、計画の見直しを希望します。</p>	<p>国際園芸博覧会については、上瀬谷地区が、緑と融合した都市のモデルを国内外に発信するのにふさわしいエリアであるとともに、この地で開催することで、基地跡地の平和的利用の象徴となり、世界へ友好平和の力強いメッセージを発信できるという理由から、開催する意義があると考えています。</p> <p>土地区画整理事業については、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた土地利用基本計画は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わいゾーン、物流ゾーン、農業振興ゾーン、公園・防災ゾーンを配置することとして検討が進められてきています。</p> <p>土地利用に当たっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>なお、広く周辺の市民の皆様も利用できる道路の整備などの公共的な利用に資するものにも、公費を充てていく予定です。</p>
31	<p>せっかく広い土地を使うのであれば、きちんと有効活用してほしいです。</p> <p>農地もあって公園もあって、さらにテーマパークができるなんて、ほかにはないまちづくりだと思います。</p> <p>ぜひ、市民が誇りに思えるようなものを作ってください。</p>	<p>土地区画整理事業については、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた土地利用基本計画は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わいゾーン、物流ゾーン、農業振興ゾーン、公園・防災ゾーンを配置することとして検討が進められています。</p> <p>いただいたご意見の趣旨を踏まえて、今後もしっかりと検討してまいります。</p>

<p>32</p>	<p>テーマパークの「テーマ」が大事。 ただ単に絶叫マシンだけがあるような、無機質なものはあり得ない。 今ある緑をつぶすのであれば、補って余りあるほどの緑をつくるべき 新たな交通は、どこかに繋げないとドリームランドの二の舞では？</p>	<p>テーマパークについては、地元協議会の皆様が、長年、民間企業の協力を得ながら、検討してきたものです。 本市としても、市民意見募集等を経て、令和2年3月に「土地利用基本計画」を策定し、郊外部の活性化拠点を形成することとしました。 本年5月には、地元協議会からテーマパークの実現可能性があるとの報告があったことを踏まえ、市施行の区画整理を進めていくことを決定し、さらに、本市においてもサウンディング調査を行い、テーマパークの実現性が高まったことを確認するなど、継続的に検討してきました。 今後、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。 土地利用に当たっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。 新たな交通は、瀬谷駅を起点とした公共交通機関として、将来の上瀬谷の土地利用に対応した輸送力を確保していく必要があり、土地利用検討の深度化にあわせ、幅広い検討を行っています。</p>
<p>33</p>	<p>伐採ばかりが注目されていますが、公園に桜を再生するのですよね。 桜も生きていますから、今伐採しなくてもいずれは寿命が来ます。 そうであれば、この機会に新しい名所を作るほうがいいと思います。 交通渋滞は困るので、拡幅は仕方がないのかなと思います。この区域の拡幅だけで足りるのかは、少し疑問です。 全体としては、良い計画だと思いますので、最後までやり遂げてください。</p>	<p>海軍道路（環状4号線）の桜並木については、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で毎年約20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。そのため、国際園芸博覧会や新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代につなげていくという考え方から、この機会に桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。 令和4年10月には、これまで検討を進めてきた、「海軍道路の桜並木に関する懇談会」の検討結果や「(仮称)旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)」、「市民意見募集の結果」等も踏まえて、「新たな桜の名所づくりに向けた基本計画(以下、「基本計画」という。)」をお示しました。 新たな桜の名所となるよう、引き続き、基本計画に基づいて着実に事業を進めていきます。</p>

		<p>将来の交通需要に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路(区画1号線～3号線)、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線の拡幅整備を進めるとともに新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めていくこととしています。</p> <p>検討の具体化に当たっては、交通渋滞などにより、周辺地域へ影響が出ないように、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p>
34	<p>テーマパークの隣に農地があるってことは、その野菜とか食べられるのかな。</p> <p>野菜のほかにも何かあるのかな。</p> <p>せっかくだから海外からのお客さんにも地元の野菜とかPRしたらいいんじゃないかな。</p> <p>農家レストランとかやってくれるといいかも。</p> <p>スイーツなんかもあると疲れた時にホッとできるし、長い時間楽しめると思う。</p> <p>たくさんの人に来てもらえるところになるとお金も落としてもらえるいいと思う。</p> <p>でも、電車やバスで行くのはちょっと不便かも。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものですが、郊外部の活性化拠点形成を目指し、政策的に農業振興と土地活用を一体的に進めるまちづくりを行っていく必要があるため、市施行による土地区画整理事業を実施することとしたものです。</p> <p>農業振興ゾーンでは、令和2年3月に策定した土地利用基本計画の中で、賑わい施設などと連携した農産物の収穫体験や、滞在しながら農の魅力を楽しむ農体験、ICTなどを活用した質の高い農産物の安定生産と直売等による「収益性の高い農業」の展開、大学と連携した農業技術の研究など、他の地域へも波及する新たな都市農業モデルとなる拠点を形成することとしています。</p> <p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p> <p>なお、新たな土地利用に合わせて瀬谷駅を起点とした公共交通機関として、新たな交通の導入を検討しています。</p>
35	<p>開発を行っていくのも良いが、バランス良く緑や農地も残して計画を進めていって欲しい。</p> <p>上瀬谷の広さを活かした開発をしてもらいたい。</p> <p>テーマパークをつくるならば、近くにある八景島シーパラダイスやよみうりランド等とも差別化をして、戸塚にあったドリームランドと同じ轍を踏まないようにしてほしい。子供たちが楽しめるような施設を望みます。</p>	<p>土地利用に当たっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>テーマパークについては、地元協議会の皆様が、長年、民間企業の協力を得ながら、検討してきたものです。</p> <p>本市としても、市民意見募集等を経て、令和2年3月に「土地利用基本計画」を策定し、郊外部の活性化拠点を形成することとしました。</p>

		<p>本年5月には、地元協議会からテーマパークの実現可能性があるとの報告があったことを踏まえ、市施行の区画整理を進めていくことを決定し、さらに、本市においてもサウンディング調査を行い、テーマパークの実現性が高まったことを確認するなど、継続的に検討してきました。</p> <p>今後、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指しており、いただいたご意見の趣旨を踏まえて、今後もしっかりと検討してまいります。</p>
36	<p>この事業を計画通り進めていただいでにぎやかなテーマパークが出来るよう、期待しています。</p>	<p>テーマパークについては、地元協議会の皆様、長年、民間企業の協力を得ながら、検討してきたものです。</p> <p>本市としても、市民意見募集等を経て、令和2年3月に「土地利用基本計画」を策定し、郊外部の活性化拠点を形成することとしました。</p> <p>本年5月には、地元協議会からテーマパークの実現可能性があるとの報告があったことを踏まえ、市施行の区画整理を進めていくことを決定し、さらに、本市においてもサウンディング調査を行い、テーマパークの実現性が高まったことを確認するなど、継続的に検討してきました。</p> <p>今後、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指しており、いただいたご意見の趣旨を踏まえて、今後もしっかりと検討してまいります。</p>
37	<p>土地区画整理はスケジュールに遅れないように確実に実施していただきたい。</p>	<p>土地区画整理事業については、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えており、いただいたご意見の趣旨を踏まえて、今後もしっかりと検討してまいります。</p>
38	<p>区画整理はしっかりと進めていただき、周辺の整備もしっかりと行っていただきたいと思います。</p> <p>地区内だけがよくなるのではなく、地域として魅力が向上していくようなまちづくりを期待しています。</p>	<p>土地区画整理事業については、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えており、いただいたご意見の趣旨を踏まえて、今後もしっかりと検討してまいります。</p>

39	<p>私たちの住んでいる瀬谷区がこの事業で横浜の中心部と肩を並べるようになることを願っています。そのためにも一日も早く事業を完了させて下さい。</p>	<p>土地区画整理事業については、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えており、いただいたご意見の趣旨を踏まえて、今後もしっかりと検討してまいります。</p>
40	<p>農業のみで生活することがかなわず、ダブルワークをしている人々が、休日に畑を手入れしつつ、保ってきた緑地です。</p> <p>後継者がなく、畑を手放すこともかなわず、高齢になっても日々畑の手入れをしている方々が、安心してまかせられる案となっています。</p> <p>机上の空論とならぬよう堅実にすすめていただきたいです。</p> <p>みな相続を控えており権利が複雑にならないように、主導して行ってください。</p>	<p>土地区画整理事業については、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えており、いただいたご意見の趣旨を踏まえて、今後もしっかりと検討してまいります。</p>
41	<p>戦前戦後を通じて約80年余り、初めて地元にとってプラスになるような事業が実施されようとしていることに万感の思いがあります。</p> <p>この事業が一日も早く完了できるよう心から願っています。</p>	<p>土地区画整理事業については、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えており、いただいたご意見の趣旨を踏まえて、今後もしっかりと検討してまいります。</p>
42	<p>旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業を早めに実施してください。</p>	<p>土地区画整理事業については、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えており、いただいたご意見の趣旨を踏まえて、今後もしっかりと検討してまいります。</p>
43	<p>区画整理事業の実施をのぞみます。</p>	<p>土地区画整理事業については、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えており、いただいたご意見の趣旨を踏まえて、今後もしっかりと検討してまいります。</p>

44	区画整理事業を早くやって欲しい。	土地区画整理事業については、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えており、いただいたご意見の趣旨を踏まえて、今後もしっかりと検討してまいります。
45	上瀬谷、再開発に関しては期待しているところであるが、事業計画案が実際にどういったプロセス、コスト、スケジュールによって、段階的に実現していくのか、もう少し、詳細が分かる様な計画案を分かり易く提示して欲しい。	いただいたご意見の趣旨を踏まえて、今後も事業の進捗状況に応じて情報提供に努めていきます。
46	土地区画整理事業も大切ですが、集客10年20年後、横浜の第2の都市として開発してほしい その為には第3セクター鉄道は必要です。必ず鉄道を!!	土地区画整理事業については、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。 新たな交通については、旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画に基づき、約250haの大規模な土地利用転換を目指すなか、必要な輸送力を有する、定時性、安定性が確保できる交通手段として、必要であると考えています。 「上瀬谷ライン」として、当初、新交通システムの導入を検討し、株式会社横浜シーサイドラインに検討依頼をしてきましたが、令和3年11月に「現時点で参画はしない」との回答がありました。現在は、新たな交通の導入に向けて、将来の土地利用に見合う十分な輸送力を確保できる輸送システムについて、整備コストの抑制や、新たな技術の活用などの幅広い検討を進めています。 いただいたご意見の趣旨を踏まえて、今後もしっかりと検討してまいります。
47	区画整理事業を迅速に進めて欲しい。	土地区画整理事業については、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えており、いただいたご意見の趣旨を踏まえて、今後もしっかりと検討してまいります。

48	<p>区画整理事業を早く始めていただきたいと思いません。</p>	<p>土地区画整理事業については、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えており、いただいたご意見の趣旨を踏まえて、今後もしっかりと検討してまいります。</p>
49	<p>横浜市西部の拠点として今回の土地区画整理事業は極めて重要な意味を持っている。</p> <p>開港以来、港を中心として発展してきた本市であるが21世紀を迎え、多方面からアクセス、多様な価値感を生み出すことは、必要である。</p> <p>この区画整理事業がスケジュールどおり実施されることを要望します。</p>	<p>土地区画整理事業については、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えており、いただいたご意見の趣旨を踏まえて、今後もしっかりと検討してまいります。</p>
50	<p>土地区画整理事業をしっかり実行してください。花博のスケジュールもせまっているので遅滞なくすすめて欲しい。</p>	<p>土地区画整理事業については、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えており、いただいたご意見の趣旨を踏まえて、今後もしっかりと検討してまいります。</p>
51	<p>まず、山中市長に今までの経緯を伝えたいと思います。</p> <p>中田市長時にこの地域の自然環境保全については十分に考慮していく旨の回答（市広聴902745号）をいただいております。その後、米軍施設返還跡土地利用指針が立ちましたが、林市長時にゾーン案、テーマパーク構想、花博、年間1500万人の人出、新しい鉄道など自然環境を保全するとは思えない発表が打ち出されました。</p> <p>同時にIR構想もだされましたが、いずれも大量の反対意見が殺到したように思います。</p> <p>横浜市長選挙の結果、山中市長が新市長に就任されIR構想はなくなりましたが、旧上瀬谷通信施設とその周辺の自然環境保全についても中田市長のご回答どおり、十分に考慮し保全してください。</p> <p>地権者の生活再建については、土地の提供を求めたのは国なのだから国が立法的に税の優遇措置をとるなどの支援をすることで解決するべきではないかと考えます。</p> <p>横浜市はそういう要望を国に対してあげることで</p>	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた土地利用基本計画は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わいゾーン、物流ゾーン、農業振興ゾーン、公園・防災ゾーンを配置することとして検討が進められてきています。</p> <p>土地利用に当たっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>本事業においては、国有地・民有地の混在を解消すること、周辺の緑豊かな自然環境と調和のとれた優良な都市農業の振興と、新たな都市的土地利用が共存可能なまちづくりの推進を図るために土地を集約すること、将来必要となる道路等都市基盤の一体</p>

<p>地権者の支援をするべきで、テーマパーク建設で支援をするというのは、付近の学校、住宅地、貴重な野生生物など「公共の福祉」という点で問題がありそうに思います。大量の人出を見込んでの海軍道路の拡幅もやめてほしいです。</p> <p>広場はやはり国有地であり、いままで地域の人々や野生生物も利用してきたまさに皆のものだと認識します。</p> <p>公園のエリアとつながる自然の大草原地帯を形成する形で自然の草原の状態のまま残してください。</p> <p>広場を観光・賑わいのエリアに入れたからテーマパークに取り込まなければならぬのかというと、そうではないと思います。</p> <p>広場では従来もイベントが開かれたり、桜を見に来た人が弁当を食べたりと多くの人が区の内外から訪れていることから、だれもが自由に利用できる観光・賑わいの場として草原のまま残してくれればよいのではないかと考えます。</p> <p>公園のエリアも自然の草原が連続して続く形で残してください。</p> <p>庭園、ガーデン等、内部に区画があるようですが、壁や柵などで区画をつくらず、草原が連続する形にしてください。</p> <p>野生生物の移動が困難になってしまいます。</p> <p>桜並木や大量の桜の植樹も猛禽類の狩の障害物になります。</p> <p>人間のために自然の草原を芝生に変えてしまうようなこともやめてください。</p> <p>昆虫なども減り、ヒバリ、キジ、セッカなど野鳥が営巣できなくなってしまうます。</p> <p>歩道も最小限にして、草原地帯のいたるところに歩道を張りめぐらされると大量の人間が草原地帯に入り込み、野鳥などの野生生物が営巣できなくなり棲めなくなってしまうます。</p> <p>建物、人工物も極力ひかえ、つくる場合も猛禽類などの飛翔の障害物にならないよう高さは平屋にしてください。</p> <p>電線も障害物にならないよう地下を通してください。</p>	<p>的な整備による利便性の向上を図ることが必要です。</p> <p>米軍施設の跡地であり、約 70 年間にわたって土地利用が制限されてきたことから、地権者の早期の生活再建が求められています。そのため、令和 2 年 3 月に策定した「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画」に基づき、まちづくりを進めていく必要があります。</p> <p>公園・防災ゾーンには、豊かな自然をいかしたレクリエーション空間やスポーツ施設などを整備し、人が集い、交流する広域公園を整備する計画です。いただいたご意見については、関係部署にも情報提供します。</p> <p>生態系を保全するため、現状の地形等を生かした形で、保全対象種の生息環境を創出するとともに、個体の移動や、周辺の緑との連続性に配慮した緑地を創出することにより、動物、植物、生態系への影響を可能な限り低減することとしています。また、工事中及び工事完了後に事後調査を行い、保全対象種の生息状況を確認します。調査の結果、必要な場合には追加の環境保全措置も検討していきます。</p>
--	--

<p>52</p>	<p>手つかずの自然こそ、この場所の持つ価値である。今ある自然を破壊して、赤字必至の杜撰な計画で、花博開催も大型テーマパーク開発もすべきものではないと考える。</p> <p>壊した自然を人工的に戻すことなどできない。周辺地域を渋滞に巻き込むアクセスにしる、酷暑の時期を含むわずか半年で1000万人の来場者数にしる、無謀すぎる。</p> <p>赤字になれば、市民の税金で補填することは目に見えている。</p> <p>市民はY150の大失敗を覚えている。</p> <p>ただでさえ、横浜市は教育と福祉が手薄であることで子育て世代が増えず、少子高齢化が危ぶまれている。</p> <p>だからハコモノ行政から脱却すべきである。</p> <p>今も大型テーマパーク誘致の先行きが不透明なもの、新交通を断念したのも経営が成り立たないという賢明な判断だ。</p> <p>国も自治体も感染症対策もまともにできないにも関わらず、不安定な観光事業にうつつを抜かしている場合ではない。</p> <p>社会のあり方が激変している状況であり、18区全ての市民の理解が得られるものではない。</p> <p>オランダ・アルメーレの花博も大損失が出る情勢という。花博も大型テーマパークもやめる。それが賢明だ。</p>	<p>国際園芸博覧会については、上瀬谷地区が、緑と融合した都市のモデルを国内外に発信するのにふさわしいエリアであるとともに、この地で開催することで、基地跡地の平和的利用の象徴となり、世界へ友好平和の力強いメッセージを発信できるという理由から、開催する意義があると考えています。</p> <p>有料来場者数1,000万人は、過去の博覧会や首都圏の後背人口などをもとに設定したもので、この考え方についてはホームページ上で公開しています。</p> <p>土地区画整理事業については、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた土地利用基本計画は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わいゾーン、物流ゾーン、農業振興ゾーン、公園・防災ゾーンを配置することとして検討が進められてきています。</p> <p>土地利用に当たっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>53</p>	<p>定性的事項の3 防災・減災に資する公園 これは新たに整備される「サクラ広場」が地域の祭りやイベントに活用されると同時に災害時には自衛隊などの活動拠点になるのを指すと思われませんが、この点は環境影響評価審査会・公共事業評価委員会で「草地公場は重機の停留に適さない」と指摘されたはずで。</p> <p>同時に広域応援活動拠点と公域避難場所は並び立つものではないことも指摘されました。改善されないのは何故ですか？</p> <p>環境への配慮として相沢川、和泉川の環境をいかした生物の生育環境の保全・創出とありますがこれも「保全」ではなく専ら似た環境を「創出」するのみで、そんな事しても生物はそう簡単に移住・定着するものではないと指摘されていたはずで。何故、今ある環境をわざわざ壊すのですか。</p>	<p>公園・防災ゾーンには、豊かな自然をいかしたレクリエーション空間やスポーツ施設などを備えた人が集い、交流する場を創出するとともに、園芸博のレガシーを継承する拠点を形成し、大規模災害発生時における広域的な応援活動の拠点等を形成することを目的として広域公園を整備する計画です。</p> <p>災害時の具体的な利用については、関係部署にも情報提供します。</p> <p>生態系を保全するため、現状の地形等を生かした形で、保全対象種の生息環境を創出するとともに、個体の移動や、周辺の緑との連続性に配慮した緑地を創出することにより、動物、植物、生態系への影響を可能な限り低減することとしています。また、工事中及び工事完了後に事後調査を行い、保全対象種の生息状況を確認します。調査の結果、必要な場合には追加の環境保全措置も検討していきます。</p>

<p>54</p>	<p>旧上瀬谷通信施設地区は戦前は日本海軍の戦後はいったん返還されたものの、米軍の通信施設として接収され、その後 70 年土地利用が制限されてきました。</p> <p>現在、農地や緩やかな起伏の草地など豊かな自然環境が広がり、4 本の川があり、谷戸地形等が残される中で貴重な生態系が残されています。</p> <p>その地を、民有地も国有地も市有地も一体的に開発できるようにと特区申請がされ、法改正が行われて今回の土地区画整理事業へと進んでいます。</p> <p>2015 年 6 月に米軍基地が返還され、瀬谷区では地域のみなさんが瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会を 15 年 7 月に立ち上げ、区と一緒に跡地利用の検討を進めてこられました。</p> <p>そして、19 年には将来に向けたより良い開発を願う要望書も市長あてに出されています。</p> <p>地域の活性化、高齢化社会に対応する医療・福祉の施設、川を含めた自然環境の適切な保全、下流域を考慮した総合治水対策、持続可能な都市農業の展開、周辺住民に理解を得たうえでの事業推進を要望されました。</p> <p>今回の事業計画が、これらの要望に応えたものとなっているのかどうか重要です。</p> <p>私たちは、この切実な要望も加味しながら、今回の公共事業事前評価調書に対しての意見を提出します。</p> <p>事前評価は事業の全側面について公平・公正の視点から評価し直しを</p> <p>1) 事前評価というならば、この事業で造成された土地が有効利用されるかどうかを評価すべきです。</p> <p>2020 年 3 月に策定された旧上瀬谷通信施設地区土地利用基本計画には、農業振興、観光・賑わい、物流、公園・防災の 4 つの土地利用ゾーンが面積配分とともに示されています。</p> <p>4 つの土地利用ゾーンは、22 年 8 月 26 日の都計審が可決した旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業計画で、一部修正されました。</p> <p>明記されていませんが、観光・賑わいゾーンには 70 ヘクタールが配分されると聞いています。</p> <p>当初計画 125 ヘクタールの 4 割削減は、テーマパーク誘致を見込む同ゾーンへの国有地配分を見直した結果であり、当然の措置とはいえ、適切な判断</p>	<p>テーマパークの誘致についてですが、土地区画整理事業では、法律の定めにより、事業計画を決定した後に、地権者の換地先や、保留地の配置等を確定し、保留地の処分先を決めていくこととなります。</p> <p>しかしながら、当地区は、テーマパークを誘致するという土地利用の特殊性を踏まえ、早い段階から、地元まちづくり協議会において、検討パートナーと継続的に検討を行ってきました。本年 5 月に、地元協議会からテーマパークの実現可能性があるとの報告があったことを踏まえ、市施行の区画整理を進めていくことを決定し、さらに、本市においてもサウンディング調査を行い、テーマパークの実現性が高まったことを確認するなど、継続的に検討してきました。</p> <p>テーマパーク事業者の選定に向けて審査委員会条例が制定されましたので、公募手続きに入り、保留地処分の確実性を高めていきます。</p> <p>なお、再評価については、事業予定者が選定され、テーマパークを核とした複合的な集客施設の内容が決まった時期に実施します。</p> <p>地域の現状については、計画地内は、横浜市内でも有数のまとまった農地が広がっており、計画地の南東側には、瀬谷市民の森、上川井市民の森、追分市民の森、矢指市民の森が連続しており、豊かな緑が広がっている旨、公共事業事前評価調書に記載しました。</p> <p>観光・賑わいゾーン、物流ゾーンで都市的土地利用を行うこととしています。</p> <p>観光・賑わいゾーンは、令和 2 年 3 月に策定した土地利用基本計画の中で、テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点的形成することとしています。テーマパークについては、上記に示したとおりです。</p> <p>物流ゾーンは、土地利用基本計画の中で、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスなどの広域的な幹線道路との近接性をいかし、新技術を活用した効率的な国内物流を展開する新たな拠点を形成することとしています。</p> <p>上瀬谷のまちづくりは、約 70 年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進め</p>
-----------	---	---

<p>です。</p> <p>もっとも憂慮しているのは、テーマパーク誘致計画がコンセプトが示されただけで、いまだ構想・検討段階にとどまっています。進出希望事業者名やその数など事業化の見通しが具体的に明らかになっていないことです。</p> <p>766億円もの巨費を投じる土地区画整理事業であり、その事業費の相当部分をテーマパーク事業者への保留地処分です。賄う計画という点から、事業着手にあたってはテーマパーク誘致の実現性を明らかにすべきです。</p> <p>事業の必要性の検証と事業効果の評価を柱とした今回の事前評価については、造成土地の有効利用についての事業性・現実性についての判断をしておらず、再評価を求めます。</p> <p>2) 「事業の必要性」にかかわって</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の現状についての認識が地権者だけに焦点を当てており一面的すぎます。 <p>地域の現状というならば、国有地・市有地が半分を占めていること、同区域及びその周辺には生物多様性保全上重要な里地里山に選定されている「三保・新治、川井・矢指・上瀬谷」及び「瀬谷市民の森」等が存在していること、豊かな自然環境、広々とした農地景観が保たれていることに言及した記述を、市民への正確な情報発信として地域の現状規定に加えるべきです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな都市的土地利用についての事業の必要性について市民が判断するには、どういう施設を立地させようとしているのか、倉庫・テーマパークなど具体的に示すことが必要です。 ・事業の優先度について、ここでも地域の現状規定と同様に、基地として約70年間にわたって土地利用を制限されてきた地権者の早期の生活再建が求められていることを唯一の根拠としています。 <p>元々地域では農業がおこなわれていた経過からも生活再建といえば農業の継続といえますが、それはこの間叶わぬものとなりました。</p> <p>その方々の生活再建の責任を負うのは国であり米軍であるはずですが。</p> <p>また、地権者から暮らし向きが厳しい、生業が行き詰まっているといった切迫した声は聞こえてきません。</p>	<p>てきたものです。</p> <p>そのため、令和2年3月に策定した「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画」に基づき、早期にまちづくりを進めていく必要があります。</p> <p>本事業においては、国有地(45%)・民有地(45%)の混在を解消すること、周辺の緑豊かな自然環境と調和のとれた優良な都市農業の振興と、新たな都市的土地利用が共存可能なまちづくりの推進を図るために土地を集約すること、将来必要となる道路等都市基盤の一体的な整備による利便性の向上を図ることが必要です。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めており、今後、土地の造成においても、こうした考え方をもとに、切土盛土を少なくしていくことを考えています。</p> <p>相沢川は、現状、コンクリート3面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。また、大門川についても、現状、コンクリート3面張りの水路で、農業振興ゾーンを分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p> <p>観光・賑わい地区での事業者公募にあたっては、多くの人や企業を呼び込み、将来にわたって賑わいを形成するとともに、安定的な経営や、地球環境への配慮、グリーンインフラの視点なども取り入れ、本市の新たな活性化拠点として、相応しい提案をいただけるよう検討を進めていきます。</p>
---	---

	<p>生活再建とは災害等で財産を失い、あるいは収入の道を断たれた結果、これまで通り生活ができなくなった場合に用いられる概念であり、旧上瀬谷通信施設地区の地権者の置かれた状況を表現する言葉としては適切ではないと思います。</p> <p>事業の優先度の根拠とするには無理があります。評価のやり直しを求めます。</p> <p>3) 環境への配慮について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「豊かな自然環境をいかした土地利用の検討を進めるとともに、地区全体で多様な機能を持つグリーンインフラを活用することとしています。」と記していますが、熟慮しどうすれば自然を残せるのかを考えたものとは思えません。 ・観光・賑わいゾーンにはまとまった緑豊かな生態系が形成されています。ここは計画では、盛り土・切土による既存土地の全面的改変が行われ、ゾーンの東寄りを南に流れる相沢川は 切り回しのうえ、暗渠化されます。豊かな自然環境を生かした土地利用とは到底言えません。環境への配慮というならば、計画している土地造成工事のあり方の抜本的見直しが欠かせません。進出予定の事業者に対し、展開する事業と豊かな自然環境と両立することを進出の条件とすることは市としてできるはずです。 <p style="text-align: center;">以上</p>	
55	<p>非常に問題のある事業計画</p> <p>事業費約 766 億円そのものが見込みでしかなく、ヘッドニック評価までしているが、残念ながら非常に甘い計画である。</p> <p>令和 15 年に予定される保留地処分が、テーマパークなどと言っていて想定通りとなるのか、人口減少で首都圏が勢いのなくなる中で、想定価格に実現性があるとは思えない。</p> <p>仮にこの保留地処分金のあてが外れた場合、収まりきらず市費負担となるのは計画の 22 億円では済まない。またこの「公共事業事前評価調書(案)」は虚偽が散見される。</p> <p>◎「交通利便性に優れている」</p> <p>周辺道路の拡幅計画があるとはいえ、スマートインターができたとしても、交通利便性に優れているといえるほどの状態ではなく、横浜市内の道路状態は常日頃から飽和状態にあり脆弱である。</p> <p>渋滞が当たり前の状態が続く中、果たして上瀬谷</p>	<p>テーマパークについては、地元協議会の皆様が、長年、民間企業の協力を得ながら、検討してきたものです。</p> <p>本市としても、市民意見募集等を経て、令和 2 年 3 月に「土地利用基本計画」を策定し、郊外部の活性化拠点を形成することとしました。</p> <p>本年 5 月には、地元協議会からテーマパークの実現可能性があるとの報告があったことを踏まえ、市施行の区画整理を進めていくことを決定し、さらに、本市においてもサウンディング調査を行い、テーマパークの実現性が高まったことを確認するなど、継続的に検討してきました。</p> <p>今後、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>将来の交通需要に対応するため、土地区画整理事業の中で環状 4 号線の拡幅整備や幅員 26m の幹線</p>

<p>の周辺だけを強化してどれほどの効果があるのか、市ははっきりと市民に早期に示すべきである。</p> <p>◎「環境への配慮」</p> <p>ここに書かれていることは全て虚偽としか思えない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地の全改変、川の切り回し・暗渠、ほとんどの樹木を伐採、貴重な草原環境は全滅、希少種含む動植物の生息地は全滅。 ・工事、輸送計画がすべて車両に頼ってきっている計画で、環境に高負荷。 <p>カーボンニュートラルとも SDGs とも逆行する環境への配慮が全くない計画である。</p>	<p>街路（区画 1 号線～ 3 号線）、幅員 12～18m の道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道 16 号線の拡幅整備を進めるとともに新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めていくこととしています。検討の具体化に当たっては、交通渋滞などにより、周辺地域へ影響が出ないように、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p> <p>これらの交通対策については、適宜適切に市民の皆様へ情報提供しながら進めていきます。</p> <p>相沢川は、現状、コンクリート 3 面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。また、大門川についても、現状、コンクリート 3 面張りの水路で、農業振興ゾーンを分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p> <p>土地利用に当たっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めており、今後、土地の造成においても、こうした考え方をもとに、切土盛土を少なくしていくことを考えています。</p> <p>また、国際園芸博覧会の会場予定地は、その後、新たな土地利用の中で公園として整備していく予定であり、その中で、既存樹木を生かしていくなど、緑の保全に努めていきます。</p> <p>生態系を保全するため、現状の地形等を生かした形で、保全対象種の生息環境を創出するとともに、個体の移動や、周辺の緑との連続性に配慮した緑地を創出することにより、動物、植物、生態系への影響を可能な限り低減することとしています。また、工事中及び工事完了後に事後調査を行い、保全対象種の生息状況を確認します。調査の結果、必要な場</p>
--	---

		<p>合には追加の環境保全措置も検討していきます。</p> <p>環境への配慮については、透水性舗装の導入を含め4地区においてグリーンインフラの視点を取り入れるとともに、カーボンニュートラルの達成を目指した移動手段の導入や、再生可能エネルギーの導入などの実現可能性について検討を進めていきます。</p>
56	<p>旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業について花博に反対します。豊かな自然を破壊して、桜並木も伐採して、花博とはとんでもないことです。今ある自然を残してこそグリーンインフラではないですか！</p> <p>自然豊かな土地を埋め立てて、コンクリートで固めて何がグリーンインフラですか。花博は半年で1000万人も来るはずがない。</p> <p>鉄道を引こうにも採算が取れないと相鉄も第3セクターも見放したのではないですか。採算見通しも明らかにしない。赤字は税金で埋め合わせですか。メチャクチャです。断固反対します。</p> <p>横浜市は何故市民の暮らしに関わることに税金を使わず、開発、箱物ばかりするのですか？土木建設、不動産業者を儲けさせることばかり考えている。公共財を食い物にするな。</p> <p>ふるさと納税流出額が日本一なのも、横浜市が住民の方を向いていないからです。</p> <p>住民のための市政が行わなければ税金を払う価値がない。中学の給食もない(ハマ弁は給食にあらず)、保育園も少ない、図書館も少ない、児童館もない、子供の医療費無料の取り組みも遅い、コロナ対策は首都圏の中でも最悪(県に丸投げ→世田谷区や墨田区を見習える)とにかく横浜市の計画には大反対です。</p>	<p>国際園芸博覧会については、上瀬谷地区が、緑と融合した都市のモデルを国内外に発信するのにふさわしいエリアであるとともに、この地で開催することで、基地跡地の平和的利用の象徴となり、世界へ友好平和の力強いメッセージを発信できるという理由から、開催する意義があると考えています。</p> <p>有料来場者数1,000万人は、過去の博覧会や首都圏の後背人口などをもとに設定したもので、この考え方についてはホームページ上で公開しています。</p> <p>海軍道路(環状4号線)の桜並木については、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で毎年約20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。そのため、国際園芸博覧会や新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代につなげていくという考え方から、この機会に桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和4年10月には、これまで検討を進めてきた、「海軍道路の桜並木に関する懇談会」の検討結果や「(仮称)旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)」、「市民意見募集の結果」等も踏まえて、「新たな桜の名所づくりに向けた基本計画(以下、「基本計画」という。)」をお示しました。</p> <p>新たな桜の名所となるよう、引き続き、基本計画に基づいて着実に事業を進めていきます。</p> <p>相沢川は、現状、コンクリート3面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。</p>

<p>57</p>	<p>・2つの川を暗渠化しないで下さい。</p> <p>動植物は生物多様性に富み上瀬谷で本当に素晴らしい土壌と自然が有ります。</p> <p>盛り土切り土してズタズタにして更地化、花博など旭区の里山フェスタで十分です。</p> <p>子供にも自然に触れ合える農業や田んぼと親しめるそんな環境保全を加味した開発にすべき。</p> <p>ディズニーランドの向こうを張るような博覧会など横浜市民は迷惑です。借金が残るだけ。自然を破壊して市民の要望を無視。</p> <p>・田んぼを残して子供に農業体験をさせて下さい。それが瀬谷の強みです。</p> <p>・水源地である場所を人間のエゴで自然を壊してはならない。本当の意味でのSDGsを実行してください。</p> <p>横浜の最後の大自然上瀬谷を台無しにする横浜市の上瀬谷通信施設地区土地地区画整理事業の暴走を止め、住民が納得する開発計画に立ち返って下さい。</p>	<p>相沢川は、現状、コンクリート3面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。また、大門川についても、現状、コンクリート3面張りの水路で、農業振興ゾーンを分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p> <p>土地利用に当たっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めており、今後、土地の造成においても、こうした考え方をもとに、切土盛土を少なくしていくことを考えています。</p> <p>生態系を保全するため、現状の地形等を生かした形で、保全対象種の生息環境を創出するとともに、個体の移動や、周辺の緑との連続性に配慮した緑地を創出することにより、動物、植物、生態系への影響を可能な限り低減することとしています。また、工事中及び工事完了後に事後調査を行い、保全対象種の生息状況を確認します。調査の結果、必要な場合には追加の環境保全措置も検討していきます。</p> <p>本地区に整備する公園では、農体験ができる場の創出などを計画しています。いただいたご意見については、関係部署にも情報提供します。</p>
<p>58</p>	<p>事業の必要性はない。地権者と横浜市の話し合いだけで決めるのはおかしい。</p> <p>川を暗渠化する必要もないし、国際園芸博覧会を開催することにも疑問がある。</p> <p>国際園芸博覧会の開催は、この上瀬谷のエリアの宅地整備が目的ではないか。</p> <p>そもそも民営地の開発を横浜市が行うのはおかしい。</p>	<p>国際園芸博覧会については、上瀬谷地区が、緑と融合した都市のモデルを国内外に発信するのにふさわしいエリアであるとともに、この地で開催することで、基地跡地の平和的利用の象徴となり、世界へ友好平和の力強いメッセージを発信できるという理由から、開催する意義があると考えています。</p> <p>土地地区画整理事業については、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、</p>

<p>市税の投入を行うのであれば地権者や博覧会協会だけの意見を聞くのではなく、横浜市の市民に広く意見を聞くべきである。</p> <p>現在の上瀬谷通信跡地は自然豊かな土地であり、貴重なこの土地はできる限りこのまま残すべきである。</p> <p>川を暗渠化、コンクリート化などせずに木々や芝生をそのまま残した公園や防災拠点にするべきである。</p>	<p>厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた土地利用基本計画は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたい策定し、観光・賑わいゾーン、物流ゾーン、農業振興ゾーン、公園・防災ゾーンを配置することとして検討が進められています。</p> <p>相沢川は、現状、コンクリート3面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。また、大門川についても、現状、コンクリート3面張りの水路で、農業振興ゾーンを分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p> <p>土地利用に当たっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めており、今後、土地の造成においても、こうした考え方をもとに、切土盛土を少なくしていくことを考えています。</p> <p>また、国際園芸博覧会の会場予定地は、その後、新たな土地利用の中で公園として整備していく予定であり、その中で、既存樹木を生かしていくなど、緑の保全に努めていきます。</p> <p>公園・防災ゾーンには、豊かな自然をいかしたレクリエーション空間やスポーツ施設などを備えた人が集い、交流する場を創出するとともに、園芸博のレガシーを継承する拠点を形成し、大規模災害発生時における広域的な応援活動の拠点等を形成することを目的として広域公園を整備する計画です。</p> <p>災害時の具体的な利用については、関係部署にも情報提供します。</p>
---	---

59	<p>代々、地元で暮らす者です。</p> <p>上瀬谷米軍基地を五十余年、見てきました。</p> <p>やっと止まった時間が進み始める事を嬉しく思います。</p> <p>まちづくり、区画整理には困難が伴うと思います。公表されている計画には概ね賛成です。</p> <p>「みらいにつながる」まちづくりに期待しています。</p> <p>未来に誇れる、素敵なまちづくりを実現しましょう！</p>	<p>土地区画整理事業については、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた土地利用基本計画は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わいゾーン、物流ゾーン、農業振興ゾーン、公園・防災ゾーンを配置することとして検討が進められています。</p> <p>いただいたご意見の趣旨を踏まえて、今後もしっかりと検討してまいります。</p>
60	<p>【意見】</p> <p>「観光・賑わいゾーン」の計画に反対します。</p> <p>上瀬谷の自然を活用するよう、計画の見直しを求めます。</p> <p>【理由】</p> <p>この区域に予定されている超大型テーマパーク構想案に参加する事業者は現在決まっておりません。</p> <p>新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて、当初この計画を計画・実現する予定であった相鉄ホールディングスは計画を断念しました。</p> <p>本年5月の市会常任委員会で、市は今後も継続して事業者を探していく旨の説明をしていましたが、8月30日付で旅行大手エイチ・アイ・エスは傘下とする長崎県佐世保市のハウステンボスの外国資本の投資会社への売却を発表しました。</p> <p>このことは、国内に超大型テーマパークを運営する資力のある企業が存在していないことを示していると考えます。</p> <p>また、同日行われた横浜市長の定例会見で、市長は人口減少問題について触れられていましたが、この問題は横浜市という限定した都市で起こっている問題ではなく、日本全国の問題であり、また、世界の数多くの先進国が抱える問題です。</p> <p>インバウンド事業による集客を見込んだとしても、大型テーマパークは十分な来場者を見込める事業ではなく、かつ、上瀬谷という場所は海外からの観光客を見込むには、ハウステンボスと比較して利便性がありません。</p> <p>一方で世界は脱炭素化の問題解決に直面していま</p>	<p>テーマパークについては、地元協議会の皆様が、長年、民間企業の協力を得ながら、検討してきたものです。</p> <p>本市としても、市民意見募集等を経て、令和2年3月に「土地利用基本計画」を策定し、郊外部の活性化拠点を形成することとしました。</p> <p>本年5月には、地元協議会からテーマパークの実現可能性があるとの報告があったことを踏まえ、市施行の区画整理を進めていくことを決定し、さらに、本市においてもサウンディング調査を行い、テーマパークの実現性が高まったことを確認するなど、継続的に検討してきました。</p> <p>今後、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>土地利用に当たっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>特に、国際園芸博覧会の会場予定地は、その後、新たな土地利用の中で公園として整備していく予定であり、その中で、既存樹木を生かしていくなど、緑の保全に努めていきます。</p>

	<p>す。</p> <p>上瀬谷という場所は豊かな自然を残している広大な場所であり、そこに生育する植物が行っている二酸化酸素の吸収と酸素の放出は、見込みのないテーマパークの収益よりも未来の住人たちにとって豊かな財になっています。</p> <p>本当の豊かさとは何かを考えた時、今ある広大で豊かな上瀬谷の自然を破壊すべきではないと考えます。</p>	
61	<p>問題だと感じていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区域内 242ha の大部分にブルドーザーを入れて盛土、切土を行い改変する ・盛土、切土を行わない土地も整地を行う為、全改変になる ・相沢川、大門川を切り回して暗渠化 ・土地を平らにする為、擁壁建設で景観が激変 ・土地をこのように全改変しておきながら、グリーンインフラの活用は可能なのか ・地権者の早期の生活再建とは何を指すのか ・「観光・賑わい地区」は本当に必要なのか ・テーマパークとは何をテーマにするのか ・テーマパーク用地を最大限確保する為に、様々な犠牲が生じている ・博覧会のレガシーを継承というが、博覧会自体が自然破壊になっていないか ・本当に上瀬谷の自然を遺そうという考えはあるのか ・旧日本軍が使用していた際の有害物質の除去は、完全に完了しているのか ・これまで自然観察を続けてきた地元の人たちの意見が尊重されているとは思えない ・観光資源、集客目的の施設の為の土地の確保が今さら必要なのか 	<p>相沢川は、現状、コンクリート3面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。また、大門川についても、現状、コンクリート3面張りの水路で、農業振興ゾーンを分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p> <p>土地利用に当たっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めており、今後、土地の造成においても、こうした考え方をもとに、切土盛土を少なくしていくことを考えています。</p> <p>テーマパークについては、地元協議会の皆様が、長年、民間企業の協力を得ながら、検討してきたものです。</p> <p>本市としても、市民意見募集等を経て、令和2年3月に「土地利用基本計画」を策定し、郊外部の活性化拠点を形成することとしました。</p> <p>本年5月には、地元協議会からテーマパークの実現可能性があるとの報告があったことを踏まえ、市施行の区画整理を進めていくことを決定し、さらに、本市においてもサウンディング調査を行い、テーマパークの実現性が高まったことを確認するなど、継続的に検討してきました。</p>

		<p>今後、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>国際園芸博覧会については、上瀬谷地区が、緑と融合した都市のモデルを国内外に発信するのにふさわしいエリアであるとともに、この地で開催することで、基地跡地の平和的利用の象徴となり、世界へ友好平和の力強いメッセージを発信できるという理由から、開催する意義があると考えています。</p> <p>土壌汚染調査については、当地区の全域を対象に土壌汚染対策法ガイドラインに基づき、調査を実施しています。旧日本海軍施設及び米軍上瀬谷通信施設等の土地利用の地歴を踏まえて、土壌汚染のおそれの区分と区画を選定し、詳細調査を実施しました。その結果、国有地 66 区画、民有地 22 区画の基準値超過を確認しています（民有地の 2 区画は除去済み）。</p> <p>深い位置で土壌汚染が確認された 1 か所については、今後、具体的な造成計画を進める中で、適切に対応していきますが、それ以外で土壌汚染が確認された箇所については、すべて掘削除去を行っていく予定です。</p>
62	<ul style="list-style-type: none"> ・この区画整理によって貴重な自然が壊されます。計画を見直して下さい。 ・川の暗渠化、迂回をさせる計画はやめて下さい。 ・田んぼを潰さないで下さい ・巨額の税金を先行き不透明な事業に使わないで下さい ・テーマパークを前提にするのは無謀です。やめてください。 	<p>土地区画整理事業については、当地区が戦後約 70 年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。</p> <p>相沢川は、現状、コンクリート 3 面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。また、大門川についても、現状、コンクリート 3 面張りの水路で、農業振興ゾーンを分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p>

		<p>土地利用に当たっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>なお、広く周辺の市民の皆様も利用できる道路の整備などの公共的な利用に資するものにも、公費を充てていく予定です。</p> <p>テーマパークについては、地元協議会の皆様が、長年、民間企業の協力を得ながら、検討してきたものです。</p> <p>本市としても、市民意見募集等を経て、令和2年3月に「土地利用基本計画」を策定し、郊外部の活性化拠点を形成することとしました。</p> <p>本年5月には、地元協議会からテーマパークの実現可能性があるとの報告があったことを踏まえ、市施行の区画整理を進めていくことを決定し、さらに、本市においてもサウンディング調査を行い、テーマパークの実現性が高まったことを確認するなど、継続的に検討してきました。</p> <p>今後、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p>
63	<p>総事業費（見込み） 約 766 億円（保留地処分金 638 億円、区画整理補助対象予定額 106 億円（国 1/2、市 1/2）、市単独費 22 億円）</p> <p>5月31日 都市整備委員会を視聴。</p> <p>保留地の処分先が決まっていない。総事業費はこの先膨らむおそれ。テーマパークはまだ検討中。</p> <p>来年度 仮換地指定までに決める。都市計画審議会 3月29日 162回を横浜市役所まで行って視聴しましたがテーマパークが決まっていないのになぜ土地利用計画をすすめてしまうのか、2027年の花博に合わせるスケジュールはよくない</p> <p>8月26日の審議会もオンラインで聞いていたが意見書は採択されずに施工者の見解のみで却下された。却下に納得がいけない。市民目線では、もう事業は始まっている。事業が始まってから意見募集するのはコンプライアンス違反ではないか</p> <p>契約の相手方 株式会社オオバ 横浜支店 4 契約金額 金 15,530,400 円（うち消費税 1,150,400 円）</p>	<p>テーマパークについては、地元協議会の皆様が、長年、民間企業の協力を得ながら、検討してきたものです。</p> <p>本市としても、市民意見募集等を経て、令和2年3月に「土地利用基本計画」を策定し、郊外部の活性化拠点を形成することとしました。</p> <p>本年5月には、地元協議会からテーマパークの実現可能性があるとの報告があったことを踏まえ、市施行の区画整理を進めていくことを決定し、さらに、本市においてもサウンディング調査を行い、テーマパークの実現性が高まったことを確認するなど、継続的に検討してきました。</p> <p>今後、観光・賑わい地区の一体的な活用について、横浜市が民間事業者から事業提案を募集し、審査委員会によって、事業予定者の候補者を選定していきます。</p> <p>土地区画整理法に則り提出された意見書については、施行者の見解を付して横浜市都市計画審議会に</p>

	<p>5 契約日 平成 29 年 4 月 28 日</p>	<p>付議した結果であり、適切に手続きは進められたものと考えています。</p> <p>現在、事業計画決定に向けて手続きを進めているところであり、これに必要となる調査・検討をこれまで進めてきています。</p>
64	<p>こちらにも民意無視のままつき進んでいることに怒りを感じています。</p> <p>二度と元に戻せない貴重な自然が残る土地を壊してまで前市長の悲願だか知りませんが、なぜ市民の税金が投入され花博ありきで進めなければならないのか…民意を聞く気のない国政と同じやり方ですしとても賛成できません。見直ししてください！</p>	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、約 70 年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた土地利用基本計画は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたくえ策定し、観光・賑わいゾーン、物流ゾーン、農業振興ゾーン、公園・防災ゾーンを配置することとして検討が進められてきています。</p>
65	<p>お世話になります。表題の件につきまして、テーマパークを設置すると計画されていると思われま</p> <p>す。</p> <p>その地域は国道や高速道路、バイパスが重なっている地域でもあり、ただでさえ渋滞が多いエリアです。</p> <p>そこにテーマパークとなると、地域住民の交通網に影響が大きくなり、バスの時間通りの運行もできなくなると思われます。</p> <p>また、卸センター等物流にも多大なる影響が生じると考えられます。</p> <p>また、近隣には特別支援学校もあります。スクールバスも通っています。</p> <p>交通整備をしつつ、瀬谷区民、横浜市民が気軽に運動できる公園、子どもが身体を動かせる場所にしたいだけませんか？桜並木も伐採せずに。ご思案のほど、よろしくお願ひします。</p>	<p>将来の交通需要に対応するため、土地区画整理事業の中で環状 4 号線の拡幅整備や幅員 26m の幹線街路（区画 1 号線～ 3 号線）、幅員 12～18m の道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道 16 号線の拡幅整備を進めるとともに新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めていくこととしています。</p> <p>検討の具体化に当たっては、交通渋滞などにより、周辺地域へ影響が出ないように、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p> <p>公園・防災ゾーンには、豊かな自然をいかしたレクリエーション空間やスポーツ施設などを整備し、人が集い、交流する広域公園を整備する計画です。具体的な施設に関するご意見については、関係部署にも情報提供します。</p> <p>海軍道路（環状 4 号線）の桜並木については、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近 10 年で毎年約 20 本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。そのため、国際園芸博覧会や新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代につなげていくという考え方から、この機会に桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和 4 年 10 月には、これまで検討を進めてきた、「海軍道路の桜並木に関する懇談会」の検討結果や「(仮称) 旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)」、「市民意見募集の結果」等も踏まえて、「新たな桜の名所</p>

		<p>づくりに向けた基本計画（以下、「基本計画」という。）」をお示しました。</p> <p>新たな桜の名所となるよう、引き続き、基本計画に基づいて着実に事業を進めていきます。</p>
66	<p>248.5ha の土地を全改変するから造成のためにお金がかかるのです。</p> <p>2020年3月の土地利用基本計画の18頁のまちづくりの方針2でも「今ある自然環境をいかにしながら」とうたっています。</p> <p>今ある自然環境を壊さず全改変せずに、川の暗きょ化、土地をコンクリートで固めてよう壁を作ることにはせずに自然公園と農地として下さい。</p> <p>45%だけ占める地権者の意向だけ優先させないで下さい。</p> <p>税金が投入されるまちづくりであることから、市民のために自然を残して下さい。</p> <p>45%の地権者のためならば、45%分の土地だけ彼らのために使えばいいだけです。</p>	<p>土地利用に当たっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めており、今後、土地の造成においても、こうした考え方をもとに、切土盛土を少なくしていくことを考えています。</p> <p>相沢川は、現状、コンクリート3面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。また、大門川についても、現状、コンクリート3面張りの水路で、農業振興ゾーンを分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p> <p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。市民の皆様からも環境影響評価や都市計画等の説明会や手続きを通じて広くご意見を伺ってきております。</p> <p>なお、広く周辺の市民の皆様も利用できる道路の整備などの公共的な利用に資するものにも、公費を充てていく予定です。</p>
67	<p>2頁で土地区画整理事業の概要について「今ある緑や農地を保全しつつ都市と緑や農のバランスのとれた新たなまちづくりを進める計画としています。」と記述されていますが248.5haを全改変することが既に明らかになっておりこの記述はウソですね。</p> <p>6頁の環境への配慮でも「豊かな自然環境をいかした土地利用の検討」と記述されていますが、全改</p>	<p>土地利用に当たっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めており、今後、土地の造成においても、こうした考え方をもとに、切土盛土を少なくしていくことを考えています。</p>

	<p>変るのでいかしてないですね。</p> <p>今ある自然農地をそのままに自然公園としてグリーンツーリズムができるようにし、今生息している動植物の命を奪うことはしないでください。</p> <p>花博は自然公園そのままにして、山下ふ頭でバーチャル花博を開いて下さい。</p>	<p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた土地利用基本計画は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わいゾーン、物流ゾーン、農業振興ゾーン、公園・防災ゾーンを配置することとして検討が進められています。</p> <p>生態系を保全するため、現状の地形等を生かした形で、保全対象種の生息環境を創出するとともに、個体の移動や、周辺の緑との連続性に配慮した緑地を創出することにより、動物、植物、生態系への影響を可能な限り低減することとしています。また、工事中及び工事完了後に事後調査を行い、保全対象種の生息状況を確認します。調査の結果、必要な場合には追加の環境保全措置も検討していきます。</p> <p>国際園芸博覧会については、上瀬谷地区が、緑と融合した都市のモデルを国内外に発信するのにふさわしいエリアであるとともに、この地で開催することで、基地跡地の平和的利用の象徴となり、世界へ友好平和の力強いメッセージを発信できるという理由から、開催する意義があると考えています。</p>
68	<p>花博後の公園整備＝人工的に迂回させた川で「自然を再現」</p> <p>花博後も、その前の開発もそうですが、全ての自然の地形を盛り土切り土でズタズタにして、今生きる生き物や水源地をぞんざいに扱わないで欲しいです。</p> <p>水や水源が有るからこそ素晴らしい自然、生物多様性が育まれている。</p> <p>今ある大谷戸地区の田畑を保全して下さい。</p> <p>今生きる者たちを大事に保全してその自然に私達が訪ねる又は観察する形式にすれば沢山の動植物、鳥類が生き延びます。</p> <p>無惨に破壊したら、未来は何もないコンクリートですか？瀬谷住民は地域の防災公園を望んでいた筈。</p> <p>瀬谷の良さは自然です。お願いします。相沢川を暗渠せずサンクチュアリの様に残して下さい。</p> <p>それこそ、未来の子供に残せる宝になります。田んぼで農業体験の教育プログラムを組んで横浜市の学校が訪れるのも大変喜ばれます。</p> <p>17 項目の世界指標のSDGsの精神に恥じない開発をお願いします。</p>	<p>国際園芸博覧会については、上瀬谷地区が、緑と融合した都市のモデルを国内外に発信するのにふさわしいエリアであるとともに、この地で開催することで、基地跡地の平和的利用の象徴となり、世界へ友好平和の力強いメッセージを発信できるという理由から、開催する意義があると考えています。</p> <p>土地利用に当たっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めており、今後、土地の造成においても、こうした考え方をもとに、切土盛土を少なくしていくことを考えています。</p> <p>生態系を保全するため、現状の地形等を生かした形で、保全対象種の生息環境を創出するとともに、個体の移動や、周辺の緑との連続性に配慮した緑地を創出することにより、動物、植物、生態系への影響を可能な限り低減することとしています。また、工事中及び工事完了後に事後調査を行い、保全対象種の生息状況を確認します。調査の結果、必要な場合には追加の環境保全措置も検討していきます。</p> <p>本地区に整備する公園では、農体験ができる場の</p>

<p>利権開発はもう、昭和じゃない。博覧会もディズニーランド並みの人等呼べません。目を覚ませ！ 横浜市！</p>	<p>創出などを計画しています。いただいたご意見については、関係部署にも情報提供します。</p>
--	--